

山口大学パブリックスペースサイン計画

Yamaguchi University Public Space Sign Plan

吉田・小串・常盤キャンパス



目 次

1章. パブリックスペースサイン計画の策定にあたって	
1. 計画策定の背景	1
2. 計画策定の必要性	1
3. 計画の位置づけと運用及び構成	1
4. サインの一般的な機能による分類	3
1) 一般的な空間イメージ	
2) サインの分類	
2章. パブリックスペースサインの現状と課題	
1. 吉田地区のサイン	4
1-1. サインの設置状況	
1-2. サインの整備課題	
2. 小串地区のサイン	16
2-1. サインの設置状況	
2-2. サインの整備課題	
3. 常盤地区のサイン	28
3-1. サインの設置状況	
3-2. サインの整備課題	
4. 各団地共通の整備課題（まとめ）	38
3章. パブリックスペースサインの整備方針	
1. 整備の基本方針	39
2. 整備の具体的取り組み事項	40
4章. パブリックスペースサインの整備計画	
1. サインのデザイン計画	41
2. 吉田地区のサイン配置計画	58
3. 小串地区のサイン配置計画	60
4. 常盤地区のサイン配置計画	62
5章. パブリックスペースサインの維持管理方針	
1. サインの維持管理について	64
2. サインの整備費	66

1章. パブリックスペースサイン計画の策定にあたって

1. 計画策定の背景

キャンパスサインは、大学内外の利用者が移動する際の手がかりや、目印となる方向や、施設の位置等に関する情報を提供する媒体となる案内誘導板、標識、地図等の総称である。

キャンパスサインの役割は移動や行動、キャンパスの理解に関わる情報を分かりやすく伝えるための移動過程のサイン、施設の名称などの情報提供であり、利用者は様々なサインに支えられている。

無秩序に乱立した、さまざまなサインに囲まれたキャンパス空間は煩雑で見苦しく、各種サインがそれぞれの情報を主張しあって、周囲への配慮に欠けた標識やサインで景観を阻害してはならない。

景観に占めるサインのウエイトが高い場合、その質的な向上によってキャンパスを整え、景観形成に大いに活用することができる。

よって、サインには情報伝達の機能に加え、良好な景観形成といったもう一つの役割が求められるようになってきた。

2. 計画策定の必要性

本学のサインは、それぞれの団地毎で独自に整備されており、案内・誘導以外の機能である大学のイメージ創出という面では、様々なデザインが混在することで、山口大学としての統一感や、纏まりに欠けた状態となっている。

また、サインの設置位置や表示範囲においても問題を抱えており、全学的にサインのシステムについて、共通認識が保たれているとは言えない。

キャンパスサイン計画では、「地域から世界へ」地域に貢献しつつ、世界に羽ばたく総合大学として、高齢者、車いす使用者、留学生等、あらゆる人に分かりやすいキャンパス空間とするため、改めてサインデザインの共通化、大学固有のイメージの形成を図って行く必要がある。

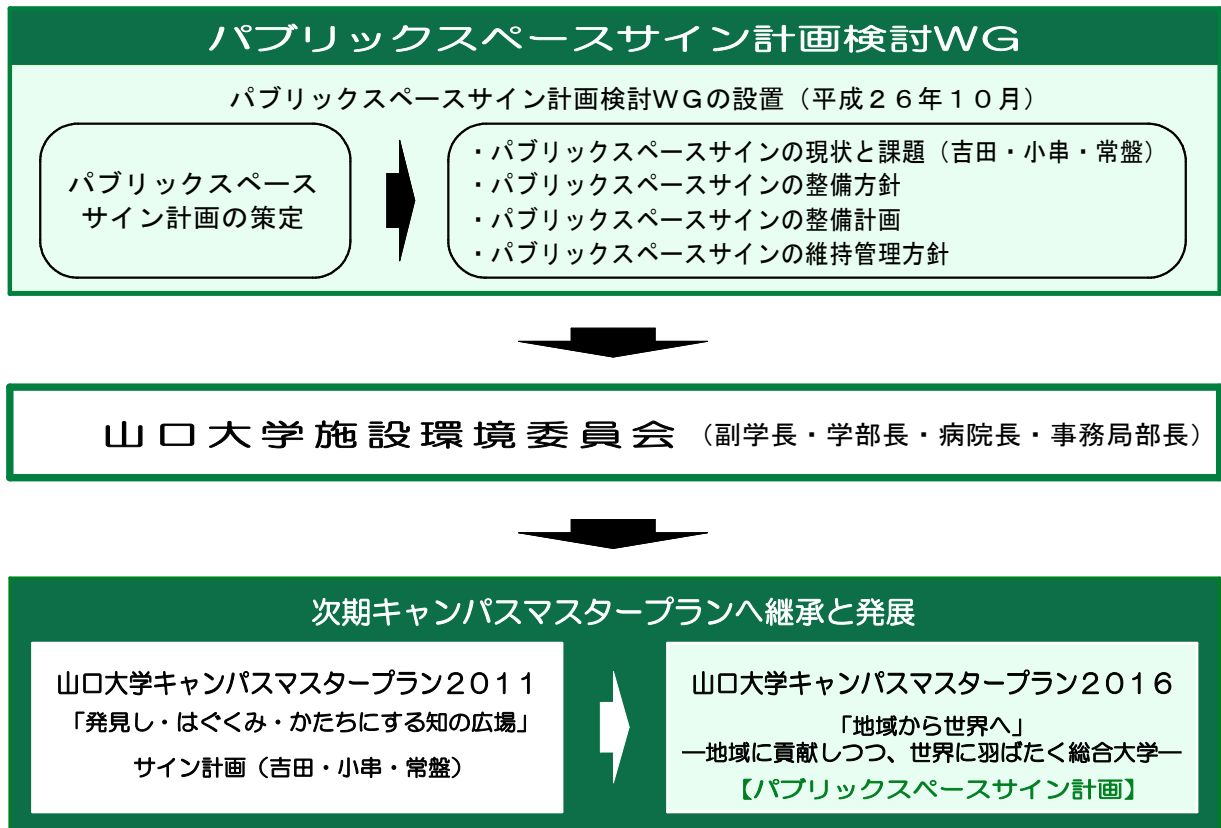
3. 計画の位置づけと運用及び構成

キャンパスサイン計画は、今後2016年度の第3期中期目標・中期計画と、第4次国立大学等施設整備5カ年計画（仮称）を受けて見直し予定の「山口大学キャンパスマスタープラン2016」の説明資料として位置づける。

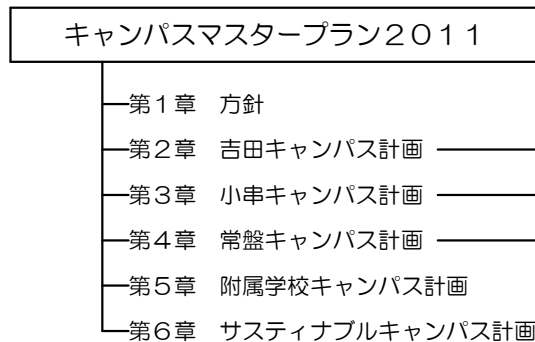
「キャンパスマスタープラン2011」のサイン計画では、「デザインの統一は当面は行わない」とされているが、今後のキャンパスの屋外環境整備も見据えて、各キャンパスに統一感のある景観に配慮した屋外サイン計画として、次期キャンパスマスタープランに連動する位置づけとする。

本計画の運用にあたっては施設の新営、大型改修時に本計画に沿った整備を合わせて実施する事とする。またパブリックスペースサインを全学的な予算、部局予算で整備実施する場合も同様に本計画に沿ったものとする。

■計画の位置づけ



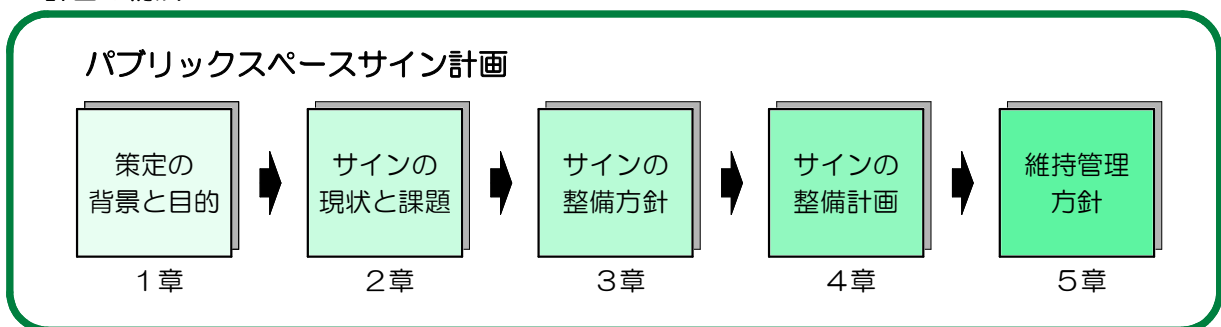
【キャンパスマスタープラン2011の構成】



【山口大学パブリックスペースサイン計画】



■計画の構成



4. サインの一般的な機能による分類

1) 一般的な空間イメージ

サインは、文字・図・記号等によって施設の内容や、それらの構成を明確にして、学生や留学生、また大学を訪れる人々に、ユニバーサルに適切な情報を提供し、利用者の活動や行動を円滑にする大学サービスの一つである。

また、機能面のみならずサイン自体の形状・色彩・素材、あるいは文字・図・記号などに統一性やデザイン性を持たせることは、豊かなキャンパス環境と建物空間を構成する上でも重要な要素となる。

そして、サインは誰もが見やすく分かりやすいことが必要であり、景観に配慮すると共に、ポイントになる場所へ、必要最小限で高い視認性を持った計画とする必要がある。

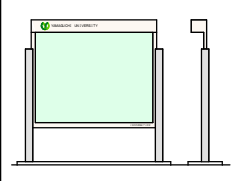
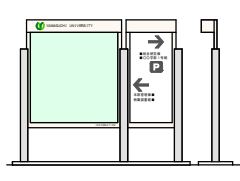
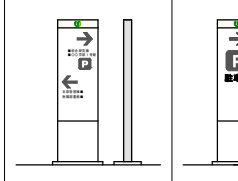
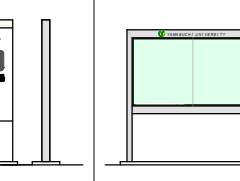
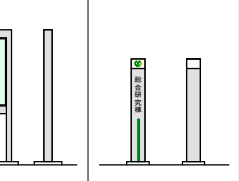

2) サインの分類

サインは一般的には以下のような分類で整備を行う。

■一般的なサインの基本機能に基づく分類

名 称	役 割	表示内容
敷地全体案内サイン	建物の概要、敷地全体構成等を案内するサインで、平面マップ・フォト・説明文等で案内。 広域の移動を想定し、正門や主な出入口に設置する。	敷地全体における、誘導施設等の位置関係を表示する。
施設誘導サイン	建物の概要、敷地全体構成等を案内するサインで、設置場所周辺の拡大マップを併記し、設置場所から各建物への誘導案内を表示する。	学部等地区毎における、誘導施設等の位置関係を表示する。
誘導サイン	ある一定の場所及び現在位置から、定められた目的場所へ導く為のサインで、各施設にポイントカラー・ピクトグラム等を付けて、分かりやすく誘導。	矢印、ピクトグラム、施設名等
規制等サイン	交通規制関係・車両誘導の他、構造物の所在、注意・禁止を表現したサイン	規制サイン、所在表示サイン、注意・禁止サイン
ポスターケース	大学の掲示・告示また、学生間のコミュニティの為のもので、管理運営・利用者運営を案内。	掲示、告示、案内、お知らせ等
施設名サイン	案内サイン・誘導サインに表示した施設名称とポイントカラーで表示した棟別表示。	施設名、建物名表示

■サインの形状 [形状・デザインは参考図]

敷地全体案内サイン	施設誘導サイン	誘導サイン	規制等サイン	ポスターケース	施設名サイン
					

2章. パブリックスペースサインの現状と課題

1. 吉田地区のサイン

1-1. サインの設置状況

■敷地全体案内サイン■

吉田キャンパスには敷地全体案内サインが正門付近に1カ所設置されている。案内サインは、夜間も考慮した照明機能も無く英文併記もされていない。

案内サインのデザインは大学のアイデンティティが見られないものとなっている。



- …敷地全体案内サイン設置位置
- …CMP2011におけるキャンパスエントランス

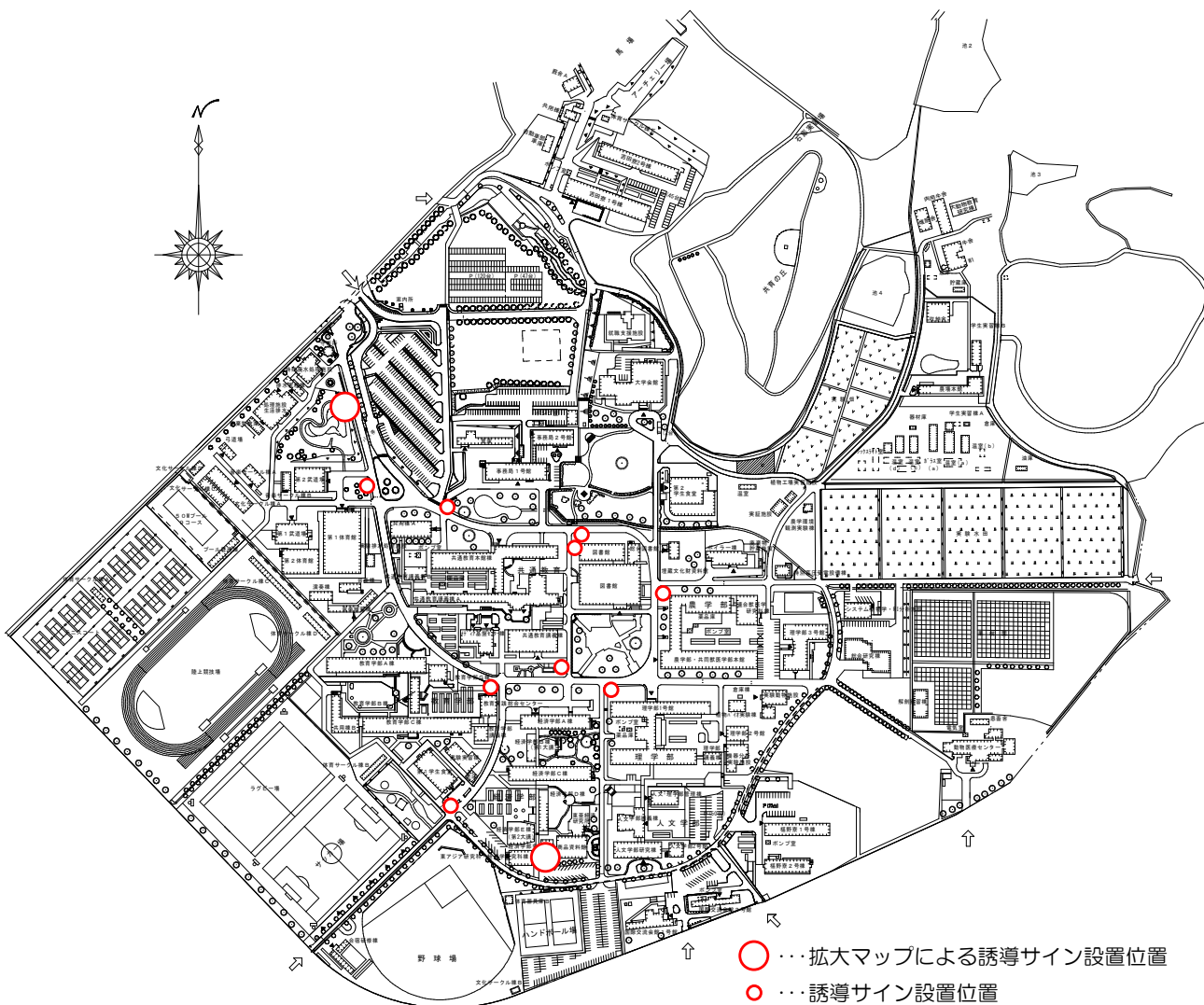


正門守衛所前の敷地全体案内サイン

■誘導サイン■

近年整備された誘導サインは、形状、色調も整合性がとれ英文併記もされている。また拡大マップによる誘導サインもある他、各所に各種雑多な誘導サインが見られる。

広大な敷地で学部単位や共通施設群を案内するには、地図情報の方が有効な場合もある。



拡大マップによる誘導サイン



拡大マップによる誘導サイン



拡大マップによる誘導サイン



近年整備された誘導サイン
(英文併記されている)



誘導サイン



近年整備された誘導サイン



誘導サイン



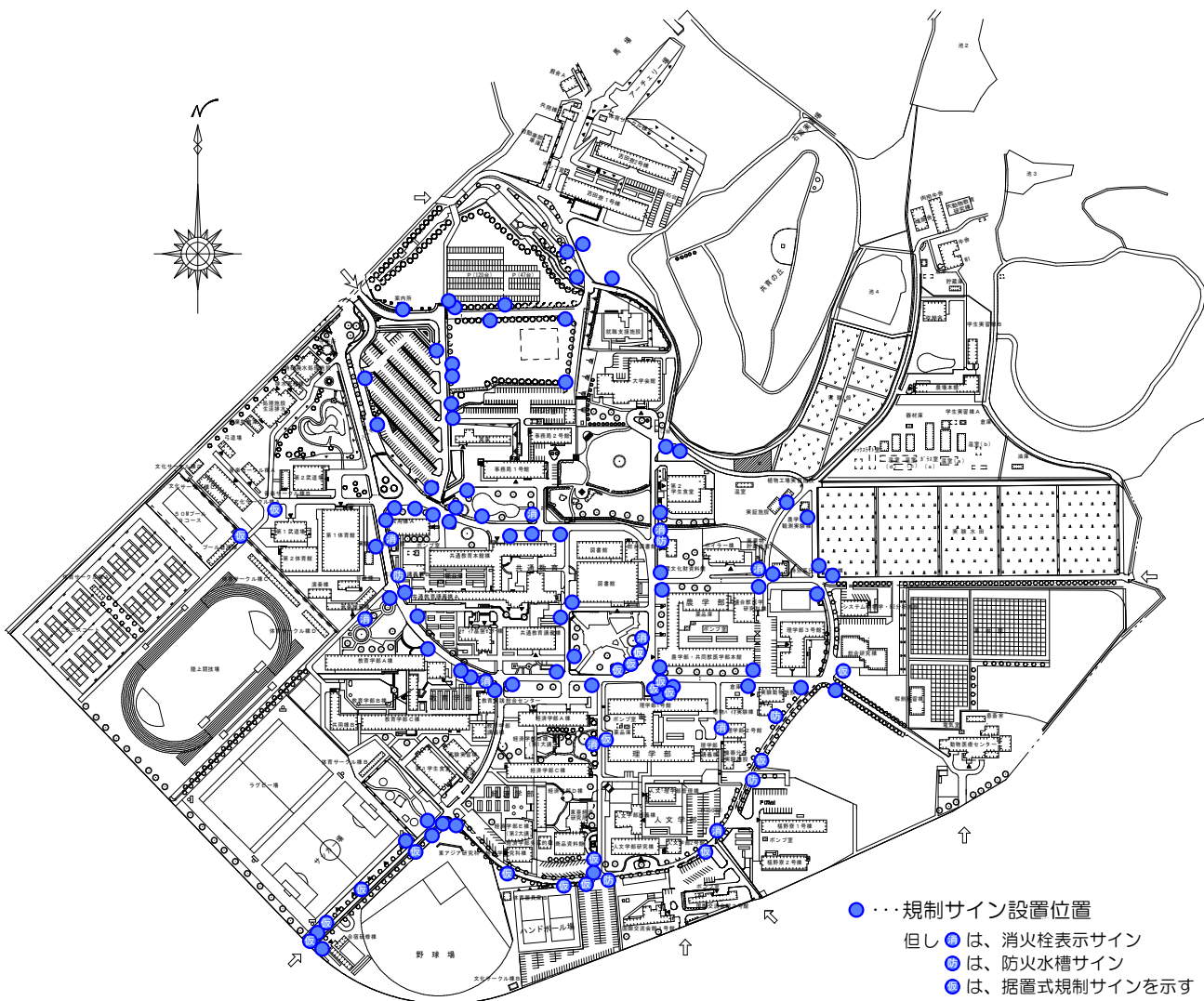
誘導サインに取り付けられたカーブミラーと
破損したサインの支柱のみ(右側)



近年整備された誘導サイン

■規制等サイン■

規制サインはキャンパスに種々雑多に設置され、統一感がなく周辺環境の美観を損なっている。
 また、サインを樹木に取り付けたり、簡易な据え置きなどで乱立し、老朽・破損・汚れたものや、
 樹木に隠れているサインもある。



止まれサインと禁煙サイン



徐行サインと進入禁止



樹木に取り付けられた速度制限サイン



マナーサイン



据置式の駐車禁止サイン



規制サイン



表示サイン（課外活動）



規制サインと無造作に置かれたサイン支柱（後ろ）



縁石に置かれた規制サイン



規制サイン



据置式の規制サイン



汚れて見えない止まれサイン



規制サイン



雑多な各種サイン



ロープの張られた規制サイン



据置式の規制サイン



樹木で見えない規制サイン



雑多なサイン



汚れた規制サイン



雑多なサイン



防火水槽表示サイン



規制サイン



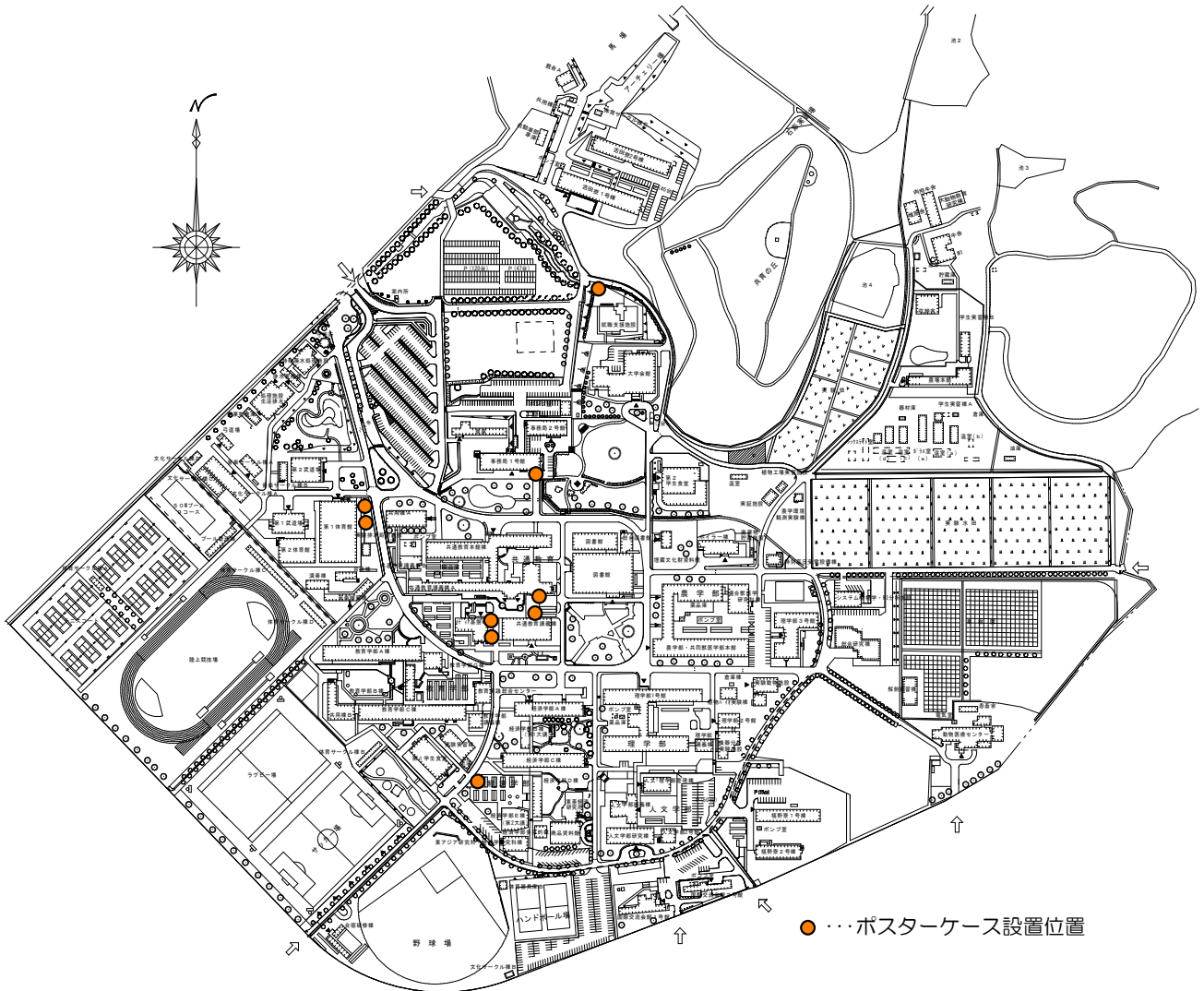
消火栓表示サイン
消火栓・交通系の標識は茶色の支柱で統一感がある。



色落ちした表示サイン

■ポスターケース■

ポスターケースは主に共通教育棟回りに集中し、比較的近年に設置されたものと旧式の老朽したものがある。



ポスターケース（事務局1号館）



ポスターケース（埋蔵文化財資料館）



ポスターケースと駐輪禁止表示（共通教育棟）



ポスターケースと前面の自転車



ポスターケース（共通教育棟）



ポスターケース（共通教育棟）



臨時掲示用の鉄骨支柱



ポスターケース



ポスターケース



ポスターケース

■施設名サイン■



校名サイン（正門）



施設名サイン（附属図書館）



施設名サイン（共通教育本館棟）



施設名サイン（附属特別支援学校等）



施設名サイン（教育学部）



施設名サイン（人文学部）



施設名サイン（事務局1号棟）



施設名サイン（放送大学）



施設名サイン
（動物医療センター）

■由緒・謂われ説明サイン■



長州五傑



記念植樹



歌碑



歌碑



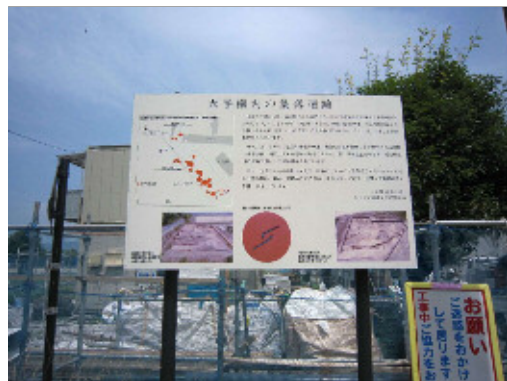
説明板（大賀ハス）



説明板（石棺）




歌碑



説明板（校内遺跡）

1-2. サインの整備課題

【吉田地区】

敷地全体案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・正門に1箇所のみで、設置位置を含めて新たな追加を検討する必要がある。 ・夜間利用のための照明機能が無いため、照明付き案内サインを検討する必要がある。 ・ロゴマークやシンボルカラーを積極的に使用して、大学のUI (University Identity) を表現する必要がある。 ・初来訪者に分かりやすくした、サイン表示を検討する必要がある。 ・教育・研究の国際化を踏まえて、サイン表示は英文併記を標準とする必要がある。 ・建物表示が同色で視認性に欠けるため、マップ表示の配色を検討する必要がある。 ・組織改組や名称変更に伴う内容修正をおこなう場合、簡易な造りとなっていない。 
誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年整備、統一された誘導サイン以外に、各所に種々雑多なサインが残っているため、サインの統一を図る必要がある。 ・英語併記としたサインに統一する必要がある。 ・学部単位や共通施設群を案内するには地図情報の方が有効となる場合もあり、設置位置と合わせて採用を検討する必要がある。 ・設置位置と合わせて、視認性の高いサイン表示とする必要がある。
規制等サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの各所に種々雑多に有り、統一されたものは無く、老朽・破損したものや安易なサインもあるため、設置、移設、撤去を個々に検討する必要がある。 ・樹木等で見えにくい標識もあるため、位置の変更や樹木の剪定を考慮する必要がある。 ・仮設的（据え置き型基礎）、簡易的な規制サインは移動しやすく傾いているため、必要なところに最小限に形状も含めて整理する必要がある。 ・ピクトグラム等の活用によって認知度を高める事も考える必要がある。 ・赤文字は、緊急性の高い情報に利用されるが安易な使用を避ける必要がある。 ・周辺景観に配慮したサイン、設置位置を検討する必要がある。 ・汚れの目立つサインは取り替え又は清掃する必要がある。
ポスターケース	<ul style="list-style-type: none"> ・部局ごとに独自で設置されて、統一感に欠けるため、今後UIを表現したポスターケースとする必要がある。 ・夜間利用も考慮し、必要な箇所には照明機能を備えたものとする必要がある。
施設名サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年設置されたものは、大学のUIを用いてある程度統一感はある。古くからある施設名サインは使用素材、表記方法、使用フォント、色調がまちまちで、今後新設する施設名サインは、統一ルールに基づいたサインとする必要がある。

2. 小串地区のサイン

2-1. サインの設置状況

■敷地全体案内サイン■

小串キャンパスには図書館の入り口付近と、福利施設の入り口付近の2箇所に敷地全体案内サインが設置されている。既存の案内サインは、夜間を考慮した照明機能がなく英文併記もされていない。

既存の敷地全体案内サインにはロゴマークはあるが、デザインの統一はなく大学のアイデンティティが見られないものとなっている。



総合研究棟前の敷地全体案内サイン

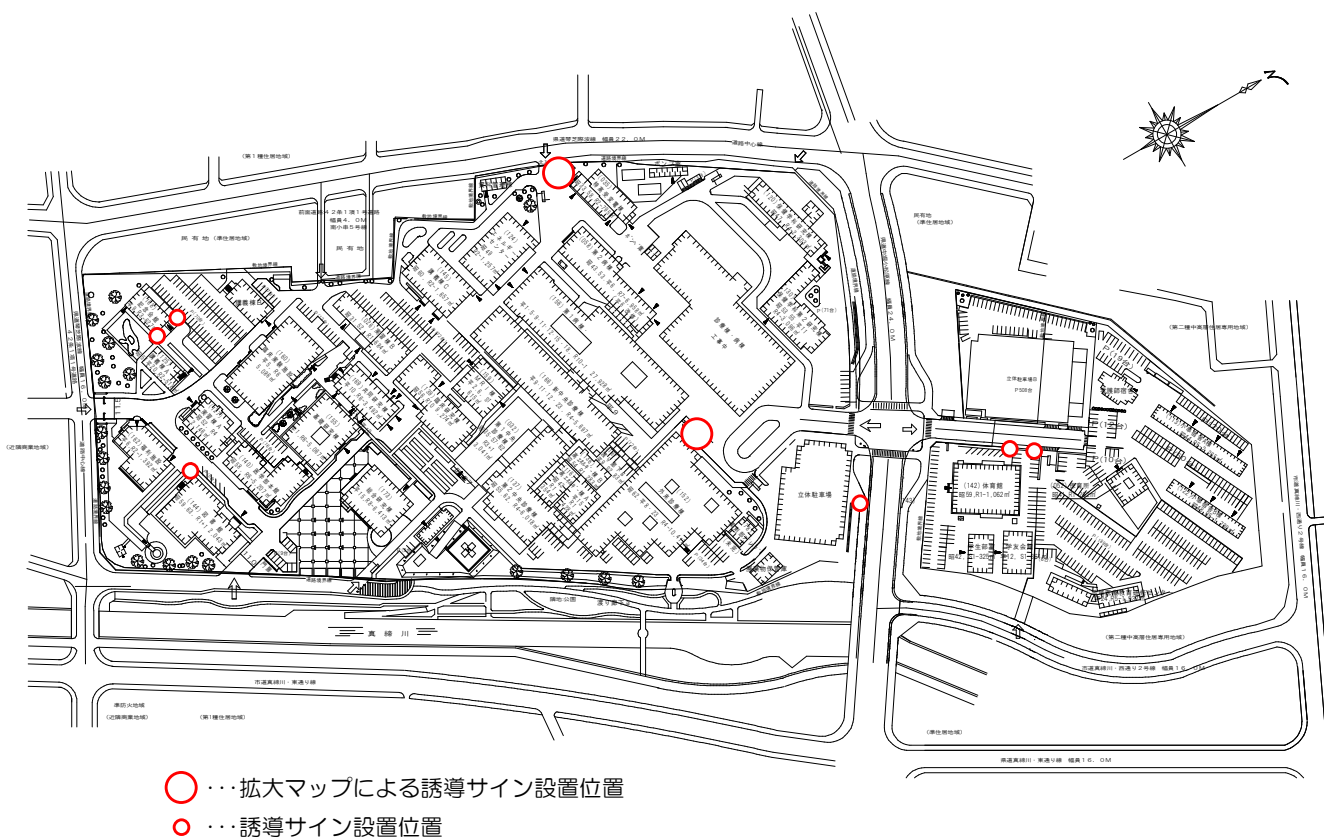


実習棟A前の敷地全体案内サイン

■誘導サイン■

各所にデザインの異なる誘導サインが点在している。学科や共通施設群（特に病院組織）は、地図情報の方が有効な場合もあるので今後検討する必要がある。

キャンパスは学部ゾーンと病院ゾーンからなるため、配置を含めてサインデザイン、配色の検討を行う必要がある。



拡大マップによる案内サイン（北入口）



拡大マップによる案内サイン（外来診療棟外壁）



駐車場誘導サイン



誘導サイン



誘導サイン



渡り廊下支柱に固定された誘導サイン



樹木の中の誘導サイン



誘導サイン



駐車場誘導サイン



誘導サイン (夜間照明付き)



誘導サイン



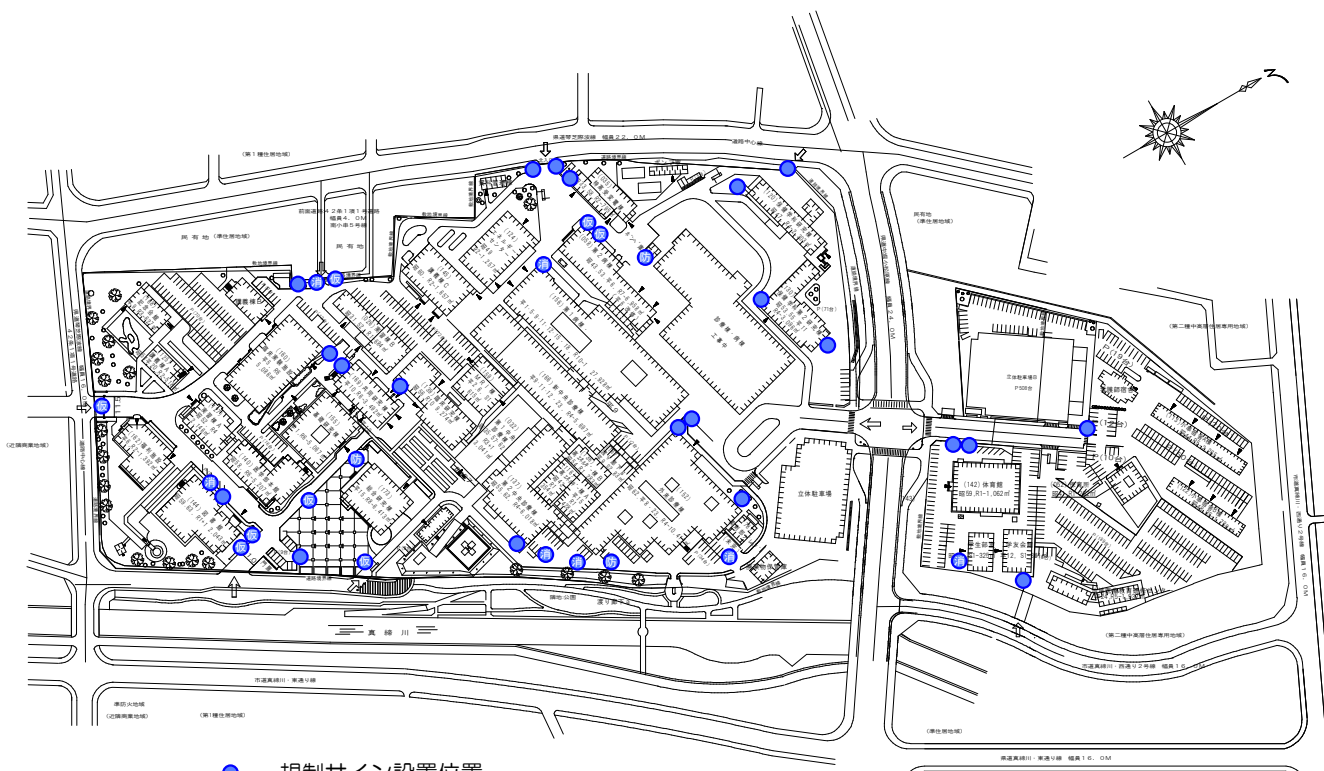
街灯にある誘導サイン

■規制等サイン■

規制等サインはキャンパスに種々雑多に設置され、統一感がなく周辺的美観を損なっている。

また、柱や街灯に取り付けたり簡易な据え置きなどで乱立し、老朽・破損・汚れたものや、樹木に隠れているサインもある。

消防用水、消火栓、消防採水口等のサインは、形状、配色とも統一されたデザインとなっているが老朽したものもある。



- …規制サイン設置位置
- 但し ● は、消火栓表示サイン
- は、防火水槽サイン
- は、据置き規制サインを示す



規制サイン



規制サイン



据置式の規制サイン



樹木に隠れた規制サイン



規制サイン



雑多な規制サイン



規制サイン



据置式の規制サイン



規制サイン（長い支柱）



規制サイン（木製）



規制サイン



据置式の規制サイン



規制サイン



駐輪禁止と駐輪サイン



規制サイン



規制サイン（駐輪場）



規制サイン



汚れている規制サイン



規制サイン



規制サイン



規制サイン



規制サイン



規制サイン（全面禁煙）



誘導・規制サイン



規制サイン（ハリポート）



規制サイン（消火栓）



規制サイン



規制サイン



建物に貼り付けた規制サイン



据置式規制サイン



規制サイン



据置式規制サイン

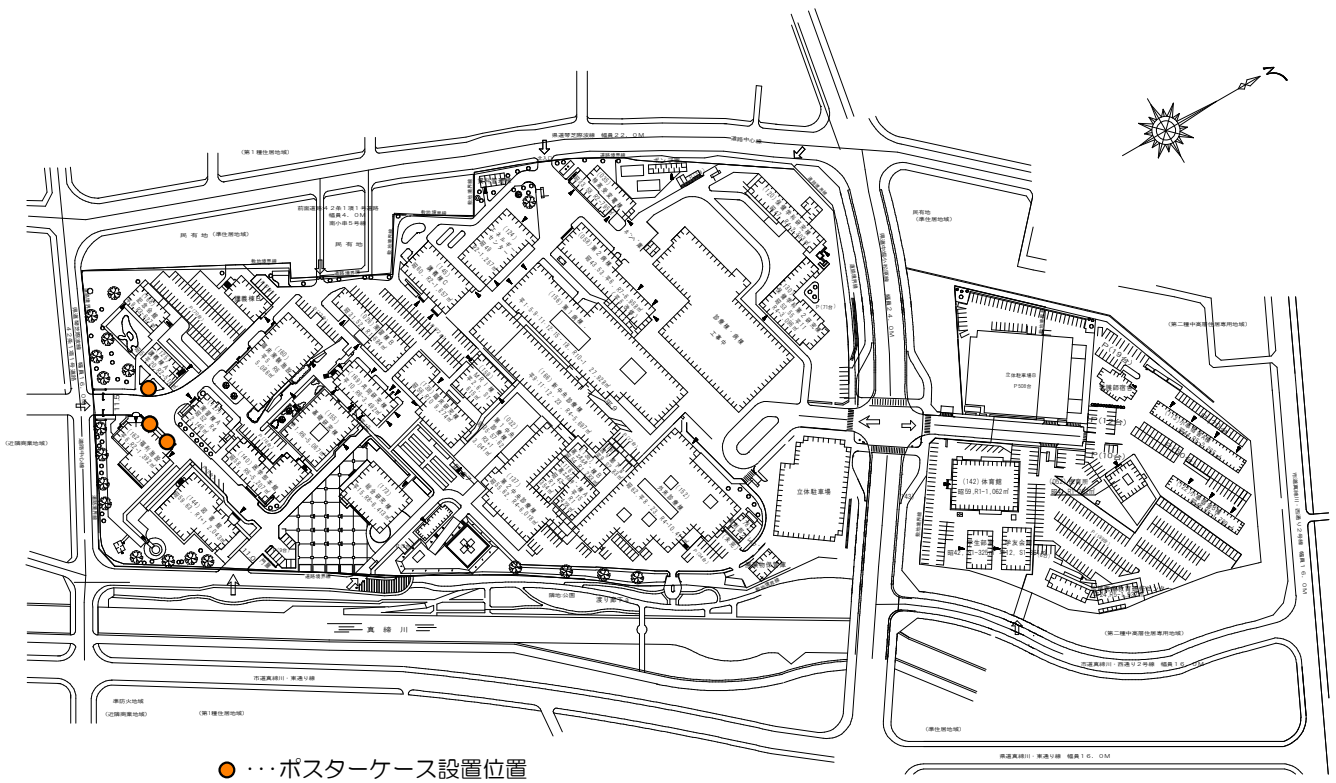


形状、配色とも統一されたデザインの防火用サイン



■ポスターケース■

ポスターケースは主に福利施設と講義棟A付近に集中しており、夜間を考慮した照明機能は無い。



ポスターケース（福利施設前）

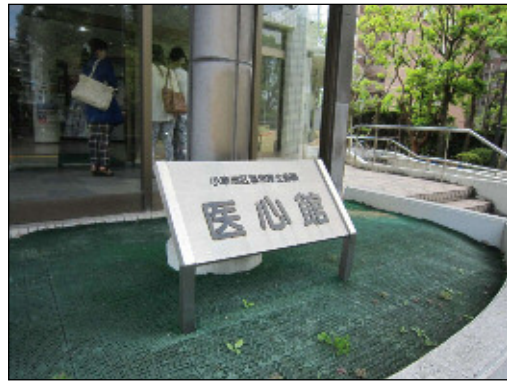


ポスターケース（講義棟A前）

■施設名サイン■ 学部等エリア



学部名サイン



施設名サイン



学部名サイン



施設名サイン



学部名サイン



施設名サイン



施設名サイン

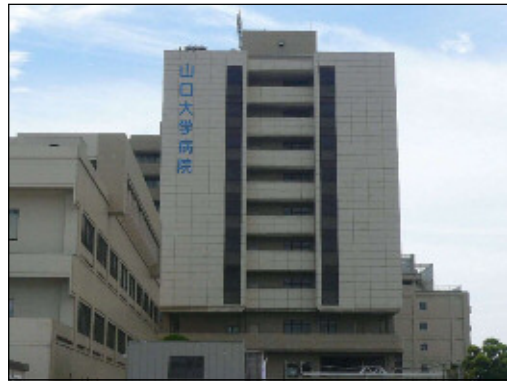


施設名サイン

■施設名サイン■ 病院エリア



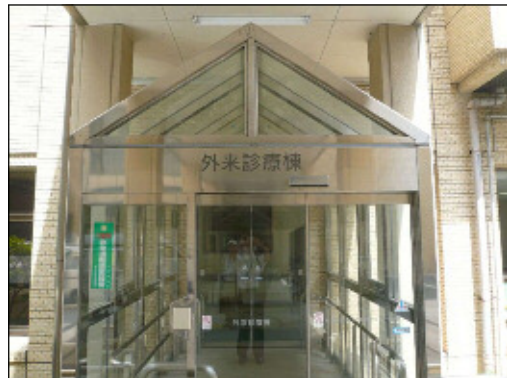
施設名サイン（敷地入口）



施設名サイン（第1病棟）



施設名サイン（救命救急センター）



施設名サイン（外来診療棟）



施設名サイン（外来診療棟玄関前）



施設名サイン（新中央診療棟）




施設名サイン（第2病棟北口）



施設名サイン
（救命救急センター玄関）

2-2. サインの整備課題

【小串地区】

敷地全体案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・小串地区は、学部入り口に2箇所あるが、学部ゾーンと病院ゾーンの2ゾーンとなるため、設置位置を含めて検討する必要がある。 ・夜間利用のための照明機能が無いため、照明付き案内サインを検討する必要がある。 ・ロゴマークやシンボルカラーを積極的に使用して、大学のUI (University Identity) を表現する必要がある。 ・病院ゾーンの初来訪者には特に分かりやすくした、ユニバーサルデザインのサイン表示を検討する必要がある。 
誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年整備、統一された誘導サイン以外に、各所に種々雑多なサインが残っているため、サインの統一を図る必要がある。 ・英語併記としたサインに統一する必要がある。 ・学科や共通施設群（特に病院ゾーン）を案内するには地図情報の方が有効となる場合もあり、設置位置と合わせて採用を検討する必要がある。 ・病院ゾーンは特に設置位置と合わせて、視認性の高いユニバーサルデザインのサイン表示とする必要がある。
規制等サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの各所に種々雑多に有り、統一されたものは無く、老朽・破損したものや安易なサインもあるため、設置、移設、撤去を個々に検討する必要がある。 ・樹木等で見えにくい標識もあるため、位置の変更や樹木の剪定を考慮する必要がある。 ・仮設的（据え置き型基礎）、簡易的な規制サインは移動しやすく傾いているため、必要なら最小限に形状も含めて整理する必要がある。 ・ピクトグラム等の活用によって認知度を高める事も考える必要がある。 ・赤文字は、緊急性の高い情報に利用されるが安易な使用を避ける必要がある。 ・周辺景観に配慮したサイン、設置位置を検討する必要がある。 ・汚れの目立つサインは取り替え又は清掃する必要がある。 ・消防水利標識は、当団地内ではほぼ統一されたデザインであるが、他団地の標識とは形状が違う。
ポスターケース	<ul style="list-style-type: none"> ・部局ごとに独自で設置されて統一感に欠けるため、今後UIを表現したポスターケースとする必要がある。 ・夜間利用も考慮し、必要な箇所には照明機能を備えたものとする必要がある。
施設名サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年設置されたものには大学のUIを用いてある程度統一感はあるが、古くからの施設サインは使用素材、表記方法、使用フォント、色調がまちまちであるので、今後新設する施設名サインは、統一ルールに基づくサインとする必要がある。 ・病院地区の施設サインは、患者等の利用者に考慮した視認性にも優れ安心感のあるデザインとする必要がある。

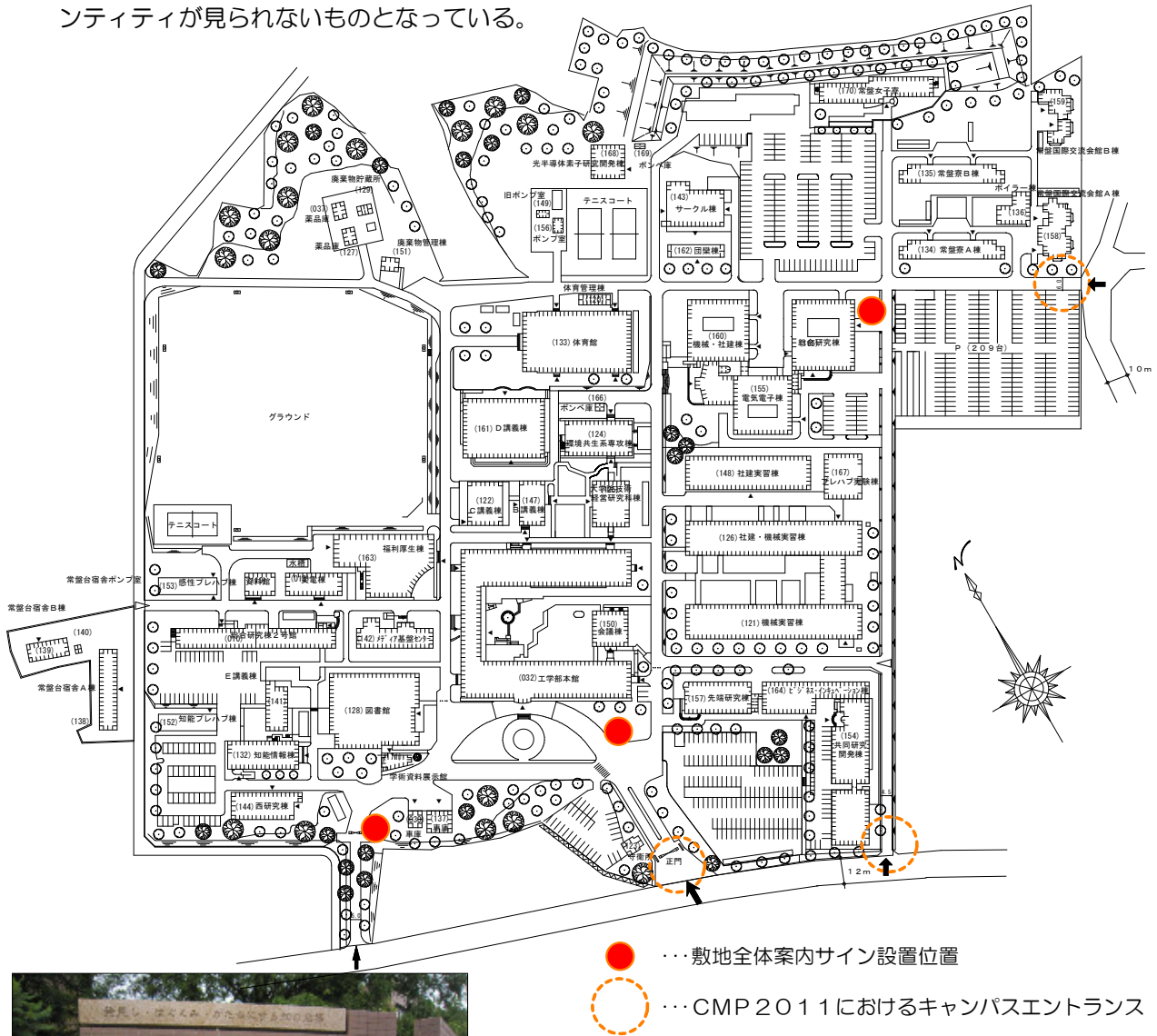
3. 常盤地区のサイン

3-1. サインの設置状況

■敷地全体案内サイン■

常盤キャンパスには敷地全体案内サインが3カ所設置されており、デザインは大まかに統一されている。

しかし、案内サインは、夜間を考慮した照明機能もなく英文併記もされていないうえ、大学のアイデンティティが見られないものとなっている。



本館前の敷地全体案内サイン



図書館南側の敷地全体案内サイン

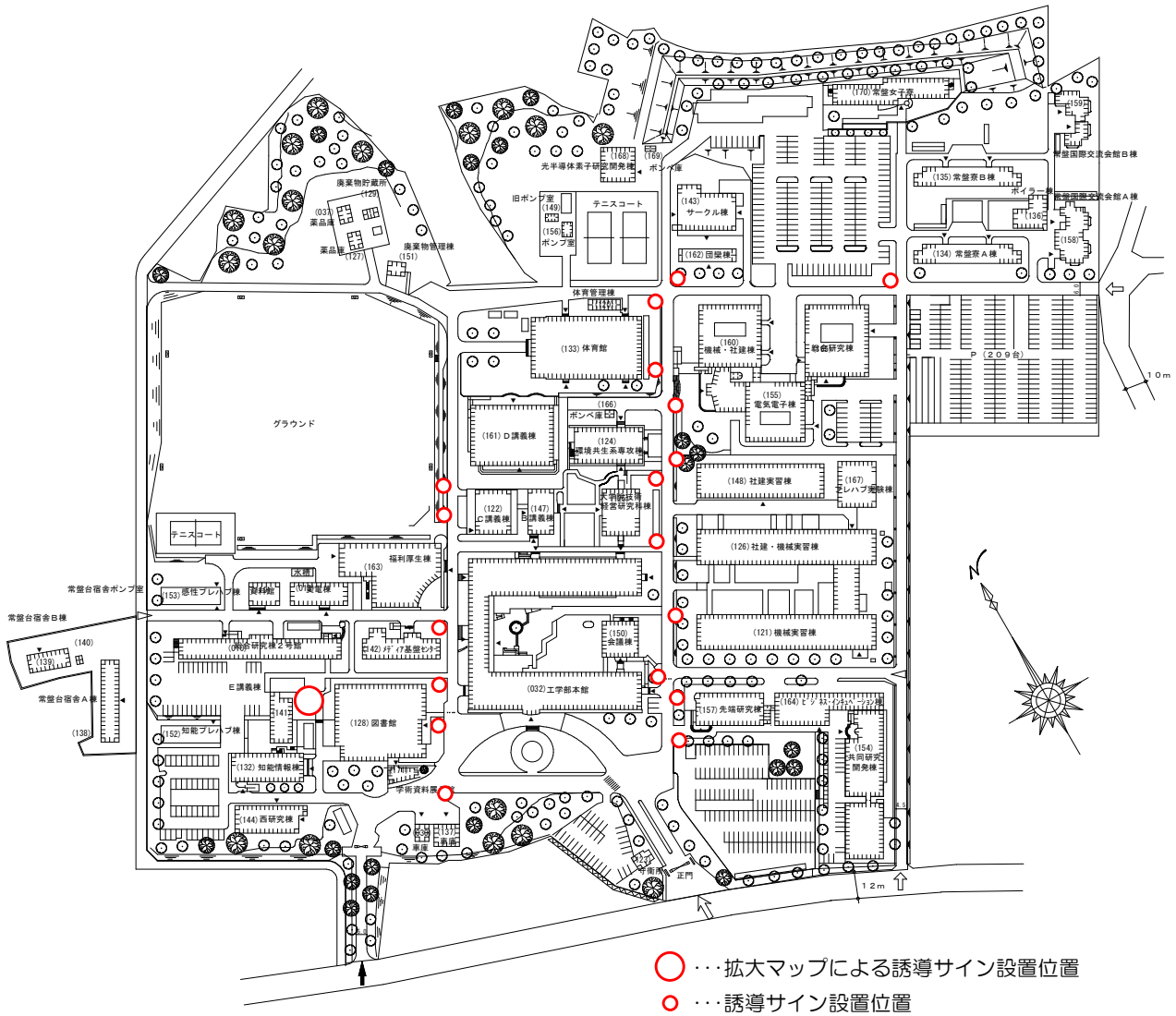


総合研究棟東側の敷地全体案内サイン

■誘導サイン■

誘導サインは近年に設置されたもので、支柱の形状は違うもののデザインの整合性もとれており、サインもユニット式となって情報の更新がしやすいものとなっている。

ただ、誘導サインに英文併記はされていない。



講義室案内サイン (E 講義室)



統一されている誘導サイン



支柱形状は違うが統一されている誘導サイン



支柱形状は違うが統一されている誘導サイン



誘導サイン



誘導サイン



誘導サイン



誘導サイン



誘導サイン（駐車場）



誘導サイン（校門）

■規制等サイン■

規制サインはキャンパスに種々雑多に設置され、統一感がなく周辺環境の美観を損なっている。

サインは建物やネットフェンスに取り付けたものが多く、簡易な据え置き式などもある。また防火用水、消火栓の位置を示す誘導サインはされていない。



正門前の規制サイン



据置き式の規制サイン



建物に取り付けられた規制サイン



規制サイン



建物に取り付けられた規制サイン



建物に取り付けられた規制サイン



柱に取り付けられた規制サイン



据置式の規制サイン



据置式の規制サイン



ネットフェンスに取り付けられた規制サイン



雑多なサイン



規制サイン



老朽して見えない規制サイン



ネットフェンスに取り付けられた規制サイン



規制サイン



据置式の規制サイン



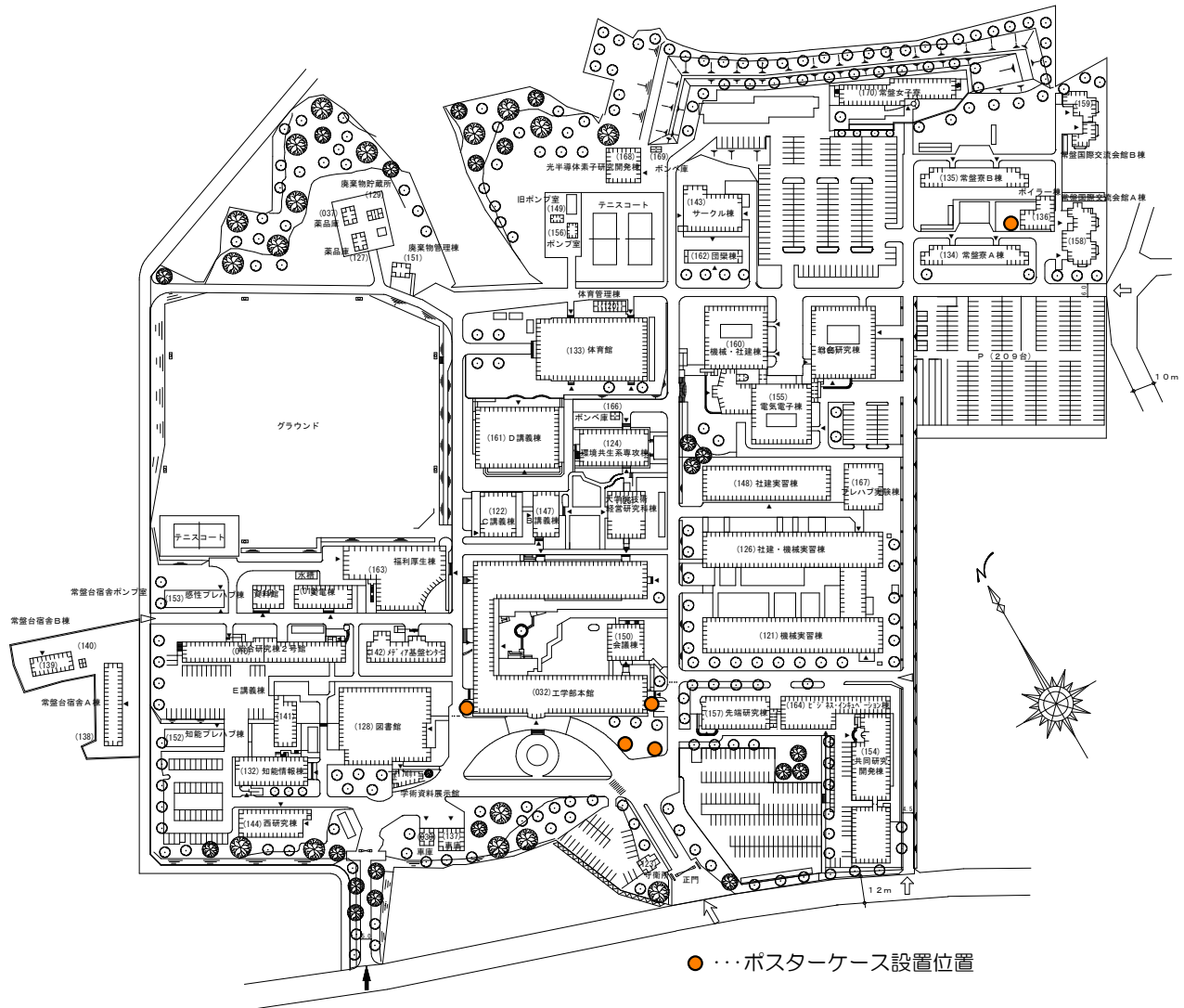
規制サイン



規制サイン

■ポスターケース■

比較的近年に設置されたものと、旧式の老朽したものも見られ美観を損なっているものもある。



正門前のポスターケース



本館横のポスターケース



ポスターケース (本館西面)



ポスターケース (常盤寮)

■施設名サイン■



ポスターケース (本館南面)



正門の施設名サイン



門柱の施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン



施設名サイン




施設名サイン



施設名サイン

3-2. サインの整備課題

【常盤地区】

敷地全体案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・常盤地区は出入り口付近に3箇所あるが、夜間利用のための照明機能が無いため、照明付き案内サインを検討する必要がある。 ・ロゴマークやシンボルカラーを積極的に使用して、大学のUI (University Identity) を表現する必要がある。  <ul style="list-style-type: none"> ・初来訪者に分かりやすくした、サイン表示を検討する必要がある。 ・教育・研究の国際化を踏まえて、サイン表示は英文併記を標準とする必要がある。 ・建物表示が同色で視認性に欠けるため、マップ表示の配色を検討する必要がある。
誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年整備されており統一されたデザインの誘導サインとなっている。 ・英文併記としたサインに統一する必要がある。 ・学科や共通施設群を案内するには地図情報の方が有効となる場合もあり、設置位置と合わせて採用を検討する必要がある。 ・設置位置と合わせて、視認性の高いサイン表示とする必要がある。
規制等サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスの各所に種々雑多に有り、統一されたものは無く、老朽・破損したものや安易なサインもあるため、設置、移設、撤去を個々に検討する必要がある。 ・仮設的（据え置き型基礎）、簡易的な規制サインは移動しやすく傾いているため、必要なところに最小限に形状も含めて整理する必要がある。 ・ピクトグラム等の活用によって認知度を高める事も考える必要がある。 ・赤字は、緊急性の高い情報に利用されるが安易な使用を避ける必要がある。 ・周辺景観に配慮したサイン、設置位置を検討する必要がある。 ・汚れの目立つサインは取り替え又は清掃する必要がある。 ・消火栓や防火水槽等の消防水利標識が無い。
ポスターケース	<ul style="list-style-type: none"> ・設置されているポスターケースは統一感がない。今後UI を表現したポスターケースとする必要がある。 ・夜間利用も考慮し、必要な箇所には照明機能を備えたものとする必要がある。
施設名サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・近年設置されたものには大学のUI を用いてある程度統一感があるが、古くからの施設名サインは使用素材、表記方法、使用フォント、色調がまちまちであるので、今後新設する施設名サインは、統一ルールに基づくサインとする必要がある。

4. 各団地共通の整備課題（まとめ）

各団地の整備課題を踏まえグローバル化に対応したユニバーサルデザインと、統一感のある良好な景観形成を推進するために、各種サインにおいて以下の事項について共通的に改善の必要がある。

種別	共通整備課題
敷地全体案内サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間利用も考慮し、照明機能を備えた案内サインとする。 ・ロゴマークやシンボルカラーを使用し、大学のUI (University Identity) を表現する。 ・初来訪者に分かり易くしたサイン表示とする。 ・教育・研究の国際化を踏まえて、英文併記を標準とする。 ・建物等マップ表示は視認性を持った配色とする。 ・表示に変更を必要とする場合に、修正のし易い表示とする。
誘導サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・英語併記としたサインに統一する。 ・学部や共通施設群を案内する場合は、地図情報のあるサインも考慮する。 ・設置位置と合わせて視認性の高いサイン表示とする。
規制等サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木等で見えにくい標識は位置の変更や樹木の剪定を考慮する。 ・仮設的規制サイン（据え置き型基礎）は移動し易く、安易な設置により周辺景観を阻害するため、臨時的な設置を除き最小限とする。 ・ピクトグラム等も活用し認知度を高める。 ・赤文字は、緊急性の高い情報に利用されるが安易な使用は避ける。 ・周辺景観に配慮した形状、設置位置とする。 ・汚れが目立つサインは清掃又は取り替える。 ・消火栓や防火水槽等のサインは、関係法令に基づき必要な箇所に設置する。
ポスターケース	<ul style="list-style-type: none"> ・UI を表現したポスターケースとする。 ・夜間利用も考慮し、必要な箇所には照明機能を備えたものとする。 ・情報化社会に対応したデジタルサイネージの導入も検討する。
施設名サイン	<ul style="list-style-type: none"> ・新設する施設名サインは、統一したルールに基づいたサインとする。

3章. パブリックスペースサインの整備方針

1. 整備の基本方針

キャンパス全体の情報内容や、書体、形態等デザインの統一性を確保し、その表示方法の整合、設置位置の統一など一貫した分かりやすいサインとするために、パブリックスペースサイン計画は以下のコンセプトとする。

- 誰もが、安全、安心して移動できるサインの整備
- 景観形成に配慮した質の高いサインの整備
- 大学の特色を活かした統一感のあるサインの整備

① 誰もが、安全、安心して移動できるサインの整備

- ・ 来訪者を円滑に誘導するために、適切な位置に明確な階層性をもたせた情報を提供する。
- ・ ユニバーサルデザインに配慮したサイン整備とする。
- ・ 文字は英語併記を基本とし、情報がわかりやすいピクトグラムを用いて国際化に対応したデザインとする。
- ・ キャンパスを訪れる人々に理解しやすく、アクセスがしやすいサインとする。
- ・ 案内誘導情報は一定基準に従い、連続して提供できるサイン整備とする。
- ・ 安全性と見つけやすさ、障害のある人にも配慮した、視距離に応じた高さと大きさのサインとする。

② 景観形成に配慮した質の高いサインの整備

- ・ 知の広場に相応しい個性あるキャンパスとして、良好な景観形成の規範となるシンプルで美しいデザインとする。
- ・ 必要な種類のサインを効果的に配置したサイン整備とする。
- ・ 周辺環境に溶け込むが、必要な情報は視認性の高いサインとする。

③ 大学の特色を活かした統一感のあるサインの整備

- ・ シンボルマークを明示し、山口大学のアイデンティティを表現したデザインとする。
- ・ サインに使用する文字、色彩、寸法、素材、形態、仕上げなどデザインの統一を図る。

2. 整備の具体的取り組み事項

●継続的整備の推進

パブリックスペースサインは、全てのサイン整備を一気呵成におこなうのではなく、施設の新営・大型改修時、全学又は部局予算が見込める時々に、情報内容や設置位置など実情を見極めながら本計画に沿って継続的に進め、統一感のある整備を図る。

●サインへの近づきやすさを確保

視力の弱い人や車いす使用者がサインの近くに寄って表示を見ることを前提に、低い視線への配慮と足下の蹴り込みを確保する。

特に敷地全体案内サインの周辺は、段差や舗装等についてもサインに近づくのに支障があると判断される場合は、設置箇所の移動や歩道等の整備も合わせて行う。

●メンテナンスが容易であること

各種サインに使用する材質は高耐久性のものとする。また、サインの表示面は、施設や周辺状況の変化に応じて情報内容の変更を速やかに行うことが望ましいため、定期的・短期的な変更があることも考慮し、部分的な取り替えが容易な材質とする。

●ユニバーサルデザインへの配慮

サインの外国語表記については、日本語と英語の2カ国語表記を基本とし、表示が繁雑にならないようにする。また、ピクトグラムは世界共通の事象を示す記号として多くの人に理解されており、サイン表示において有効に活用していく。

車いす使用者、視覚障害者、視力の低下した人など誰もが見やすく分かりやすいサインとするために、文字やピクトグラムの大きさ、サインの設置高さなどに配慮する。

多機能トイレや車いす使用者が使用可能なバリアフリー設備は、案内マップ上で設置箇所をピクトグラムで表示することも検討する。

キャンパスサインでは、英語は留学生にとって共通語として扱われているが、「英語表記が分かりづらい」、「外国語表記が不足している」などの要望がある。

今後のサイン整備の実施に当たっては、留学生の意見も参考にしながら、グローバルな視点に立った国際的に通用する表記とする。

●夜間対応

重要な大学入り口に設置する銘板や敷地全体案内板は、曇天や夕刻、夜間での視認性を高めるために、照明設備を備えたものとする。

照明設備は省エネルギーで長寿命の虫の集まりにくいLED照明とする。

パブリックスペースサイン整備計画

4章. パブリックスペースサインの整備計画

5章. パブリックスペースサインの維持管理方針

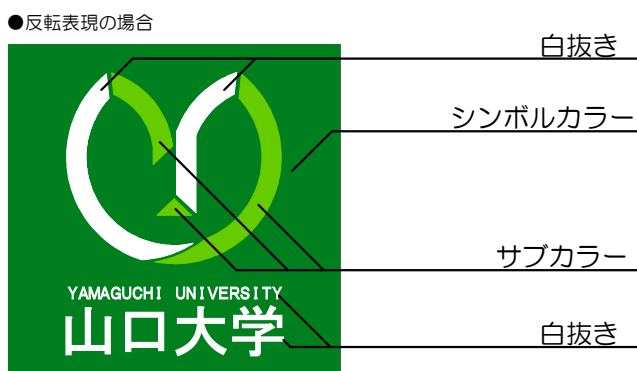


4章. パブリックスペースサインの整備計画

1. サインのデザイン計画

山口大学は平成12年4月に新たな教育理念・目標である「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」が制定されたのを機に、本学のUI (University Identity) を表現するものとして、平成16年に現在のシンボルマーク等が制定されている。

■ 山口大学におけるシンボルマークのカラー表現



●色の指定

シンボルカラー



サブカラー



ロゴカラー



●特色の指定

(DIC)

N-863
(日本の伝統色6版)

●特色の場合

(TOYO)

CF0298
(TOYO 94)

●プロセスの場合

(4色カラー)

シア 100%
マゼンタ 15%
イエロー 75%

●RGBカラーの場合

R 1
G121
B 82

N-863
(日本の伝統色6版)

CF0235
(TOYO 94)

シア 45%
マゼンタ 5%
イエロー 75%

R140
G193
B 74

540
(DIC18版)

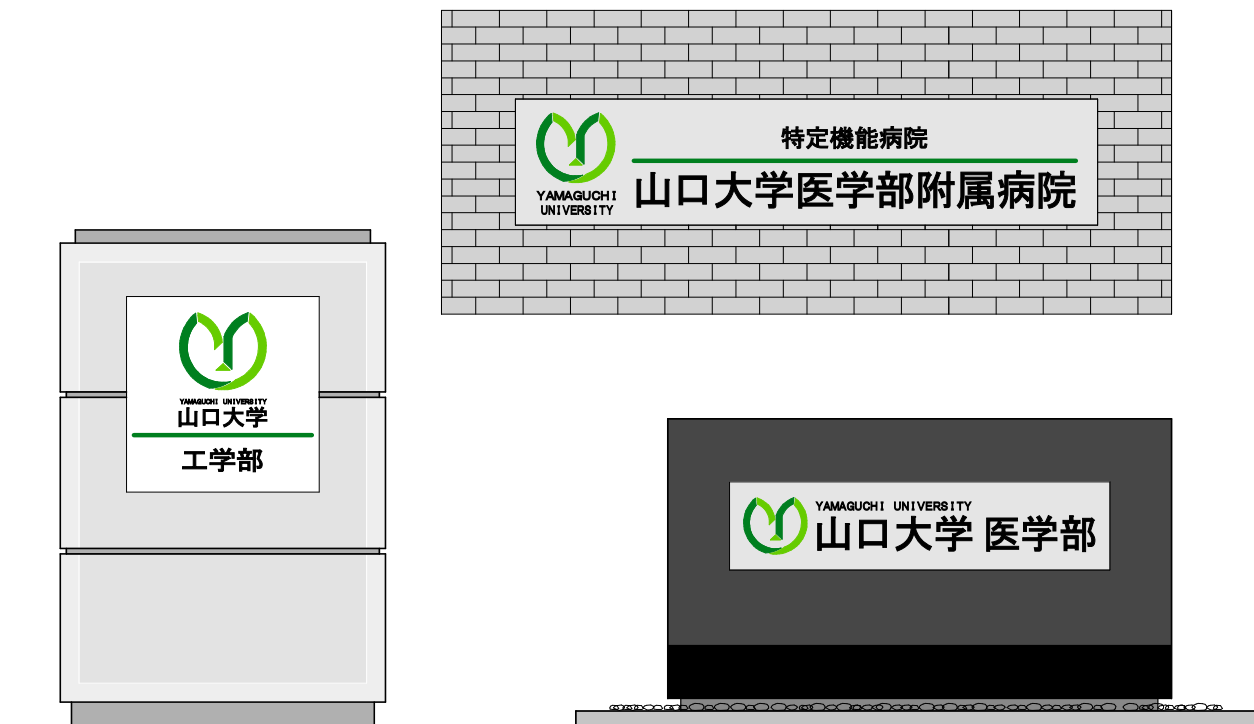
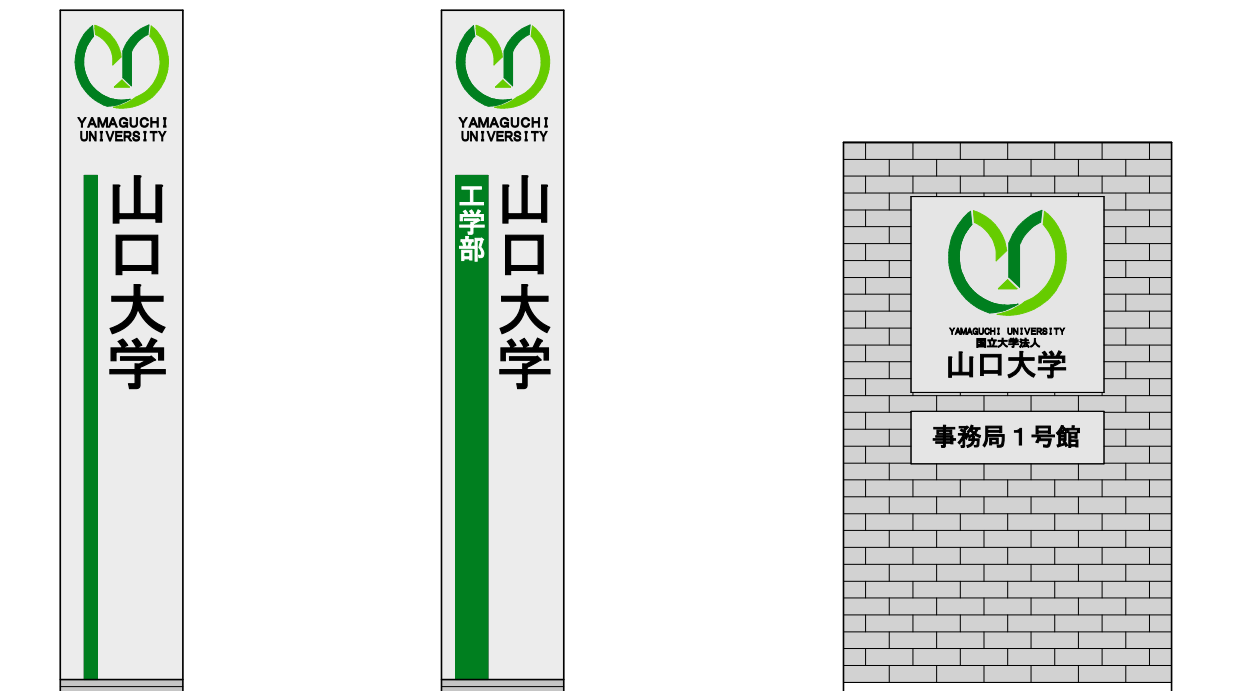
CF0998
(TOYO 94)

ブラック 75%

R 64
G 64
B 64

■ 山口大学のシンボルマークを使用したサイン

VI (Visual Identity) 管理マニュアルによるシンボルマークを使用したサイン例 (平成16年制定)

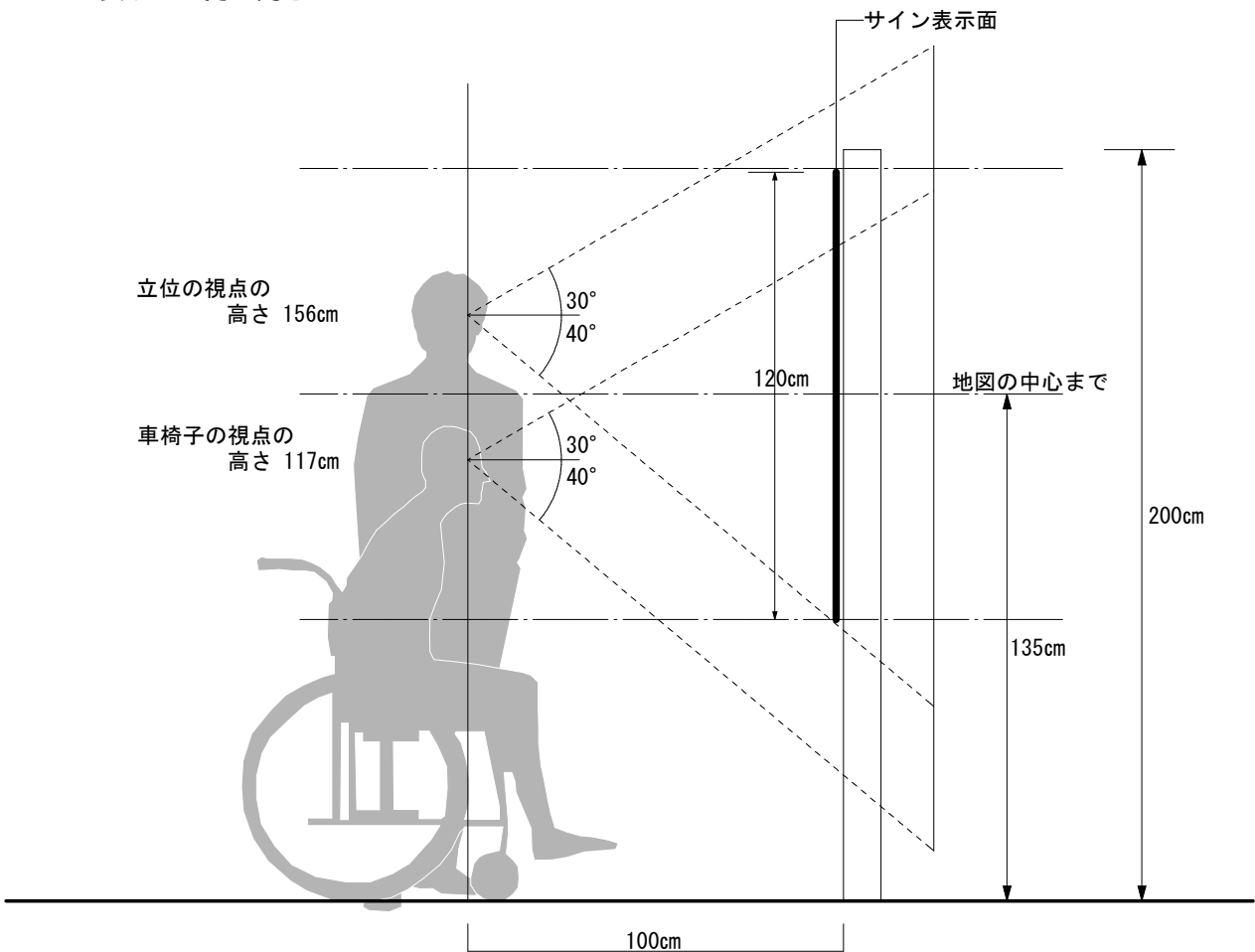


敷地全体案内サイン

サインの表示は、車椅子利用者を含めた歩行者が利用するものであるため、共通して見やすい高さ
に設定する必要がある。

掲示高さとしては立位の利用者と車いすの利用者が共通に見やすい高さとして、地図の中心高さは
1350mmを基本とする。（地図面の大きさは、1m離れて表示面が見渡せる上下60cm以内に抑え
ることとする）

□ 表示面の掲出高さ



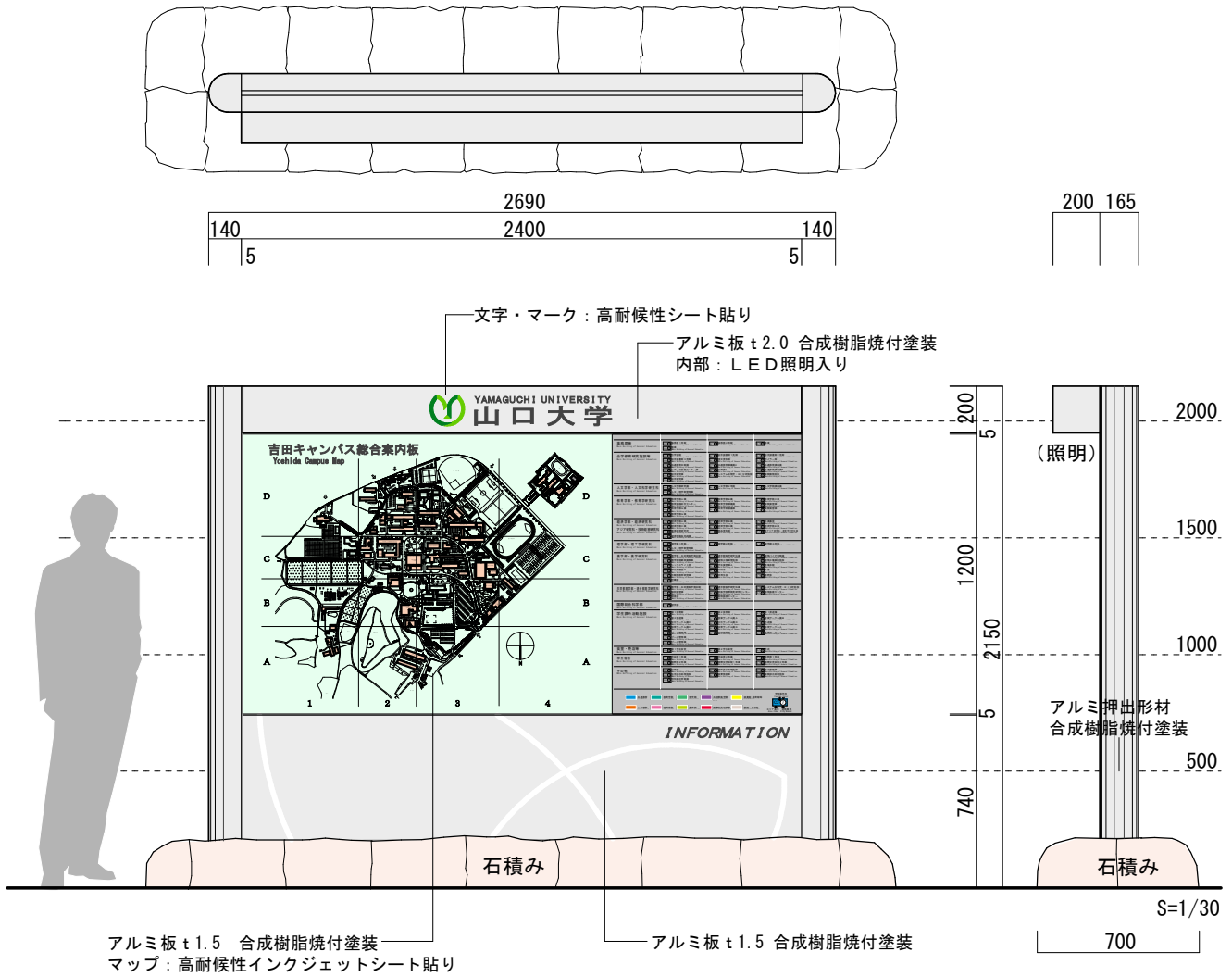
□ 地図表示文字の大きさ

地図表示に用いる文字の大きさは、視距離50cmを想定し、和文5mm以上、英文4mm以上とする。
また、表示内容の見やすさに配慮し表示内容により文字サイズを変えて表示することも考慮する。

視距離	和文	英文	ピクトグラム
凡例部表示	10.5mm	8mm	24mm
大サイズ	9mm	7mm	21mm
中サイズ	7mm	5.5mm	16.5mm
小サイズ	5mm	4mm	12mm

■ 以下に示す各サインを大学共通各種サインの基本形とする。


【敷地全体案内サイン】




* 吉田団地は施設情報量が多いためエリアマップとし、右側にインデックス（施設名称等）を記載する。
 他団地は直接マップ上に施設名称等を記載する。
 また、敷地全体案内板の寸法については、施設情報量に合わせて個別に設定する。

●RGBカラーによる色の指定


○シンボルマークのカラー色

 R1、G121、B82

 R140、G193、B74

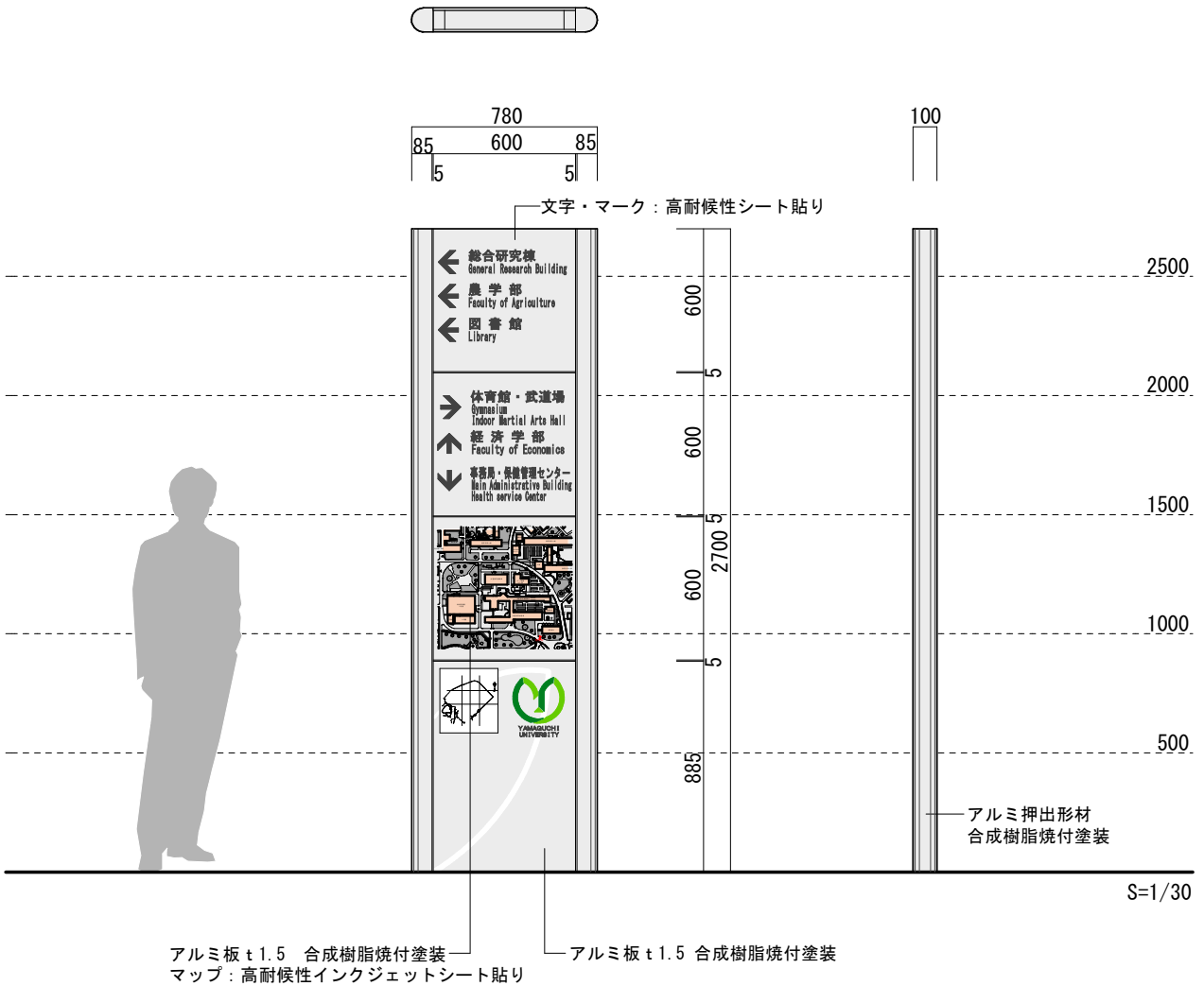
 R64、G64、B64

○サインカラー色

 R236、G236、B236
 (ステンカラー)

 R0、G76、B38

【誘導サイン（拡大マップ併用）】

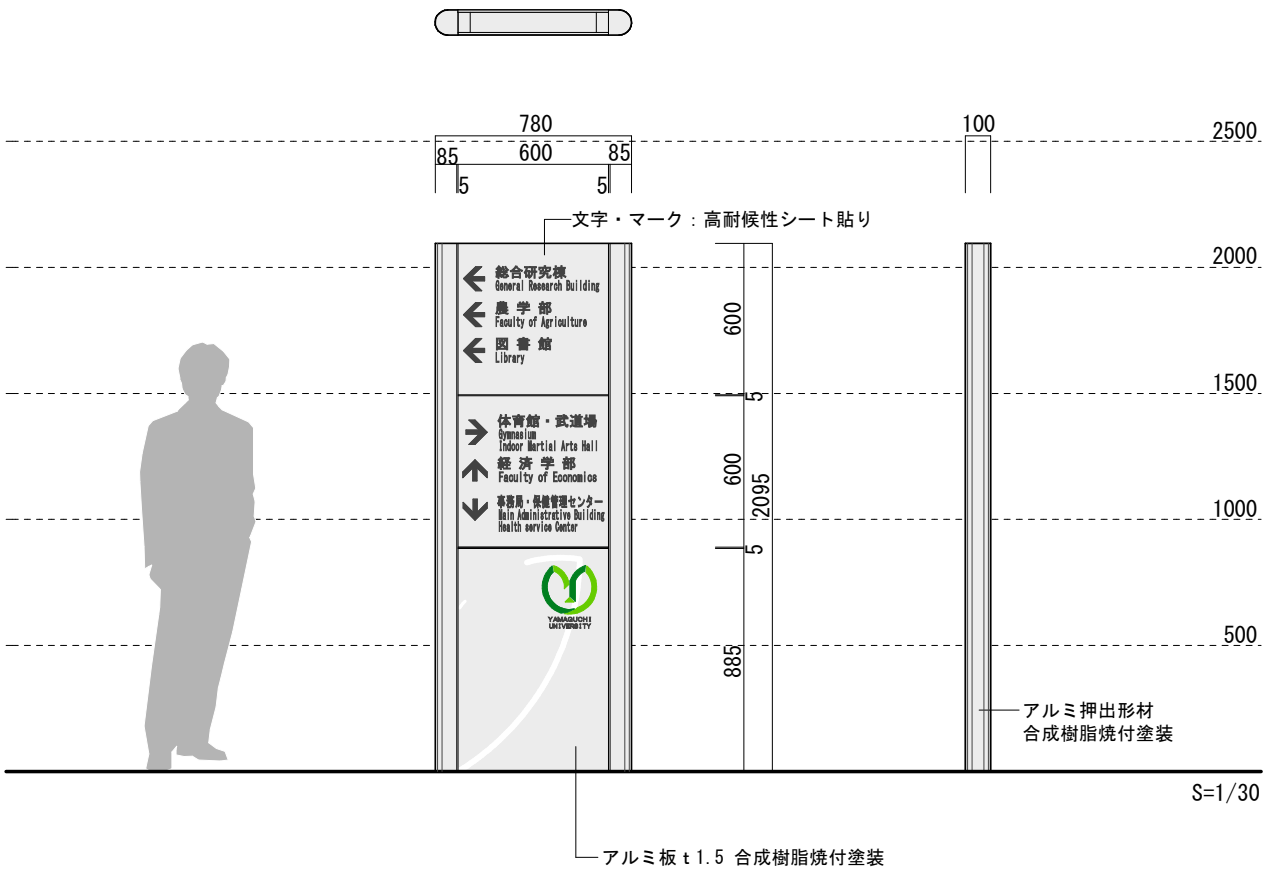


【誘導サイン】

□必要な文字の大きさ

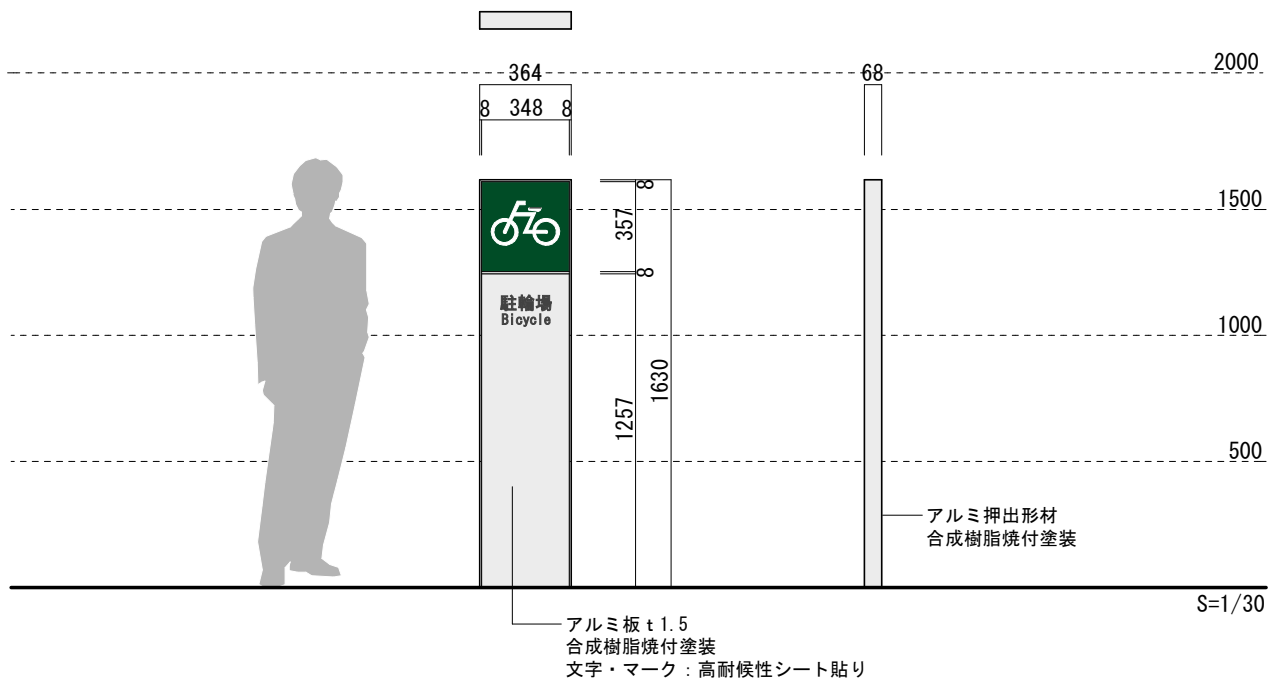
利用者の両眼矯正視力0.5を想定し各標識から判読できるように必要な文字の大きさを下記のように考える。

視距離	和文文字高	英文文字高	ピクトグラム
20mの場合	8cm以上	6cm以上	24cm以上
10mの場合	4cm以上	3cm以上	12cm以上
5mの場合	2cm以上	1.5cm以上	6cm以上
1mの場合	0.9cm以上	0.7cm以上	3.5cm以上



4

【規制等サイン】



【誘導サイン（ピクトグラム）】

ピクトグラムは絵で情報を伝達するため、言語が異なる外国人にも共通して認識できる。また、文字に比べて識別性に優れ、情報量の多いサインには欠くことのできない要素となっている。

サイン計画で用いるピクトグラムは、JIS規格を基本とする。



お手洗い
Toilets



身障者用設備
Accessible facility



くず入れ
Trash box



喫煙所
Smoking area



情報コーナー
Toilets



キャッシュサービス
Cash service



電話
Telephone



自転車
Bicycle



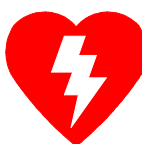
バス/バス乗り場
Toilets



広域避難場所
Safety evacuation area



禁煙
No smoking



自動体外式除細動器
AED



車両進入禁止
No entry



一般禁止
General prohibition



駐車禁止
Prohibit parking a vehicle



駐車禁止
No parking



徐行
Crawl



一時停止
Pause



指定方向外進入禁止
Progress prohibited
outside specified direction



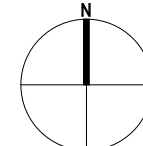
駐車可
Parking



一方通行



郵便局
Post office



方位
Orientation

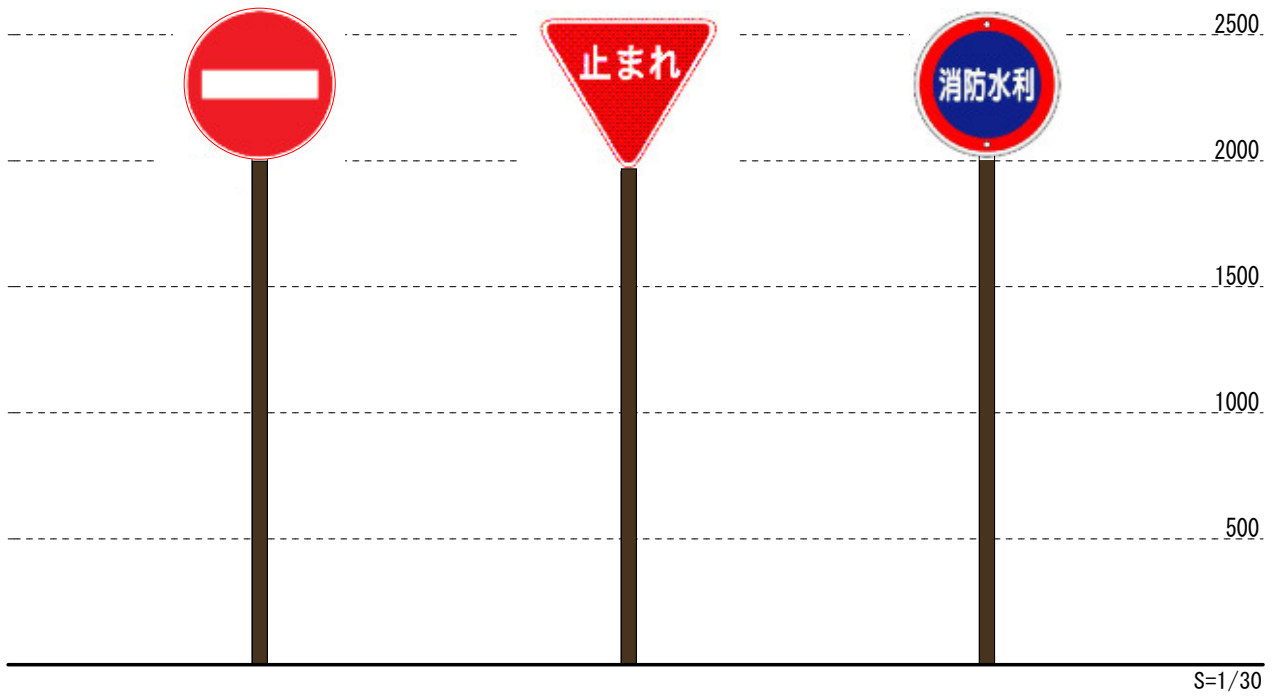


消防水利

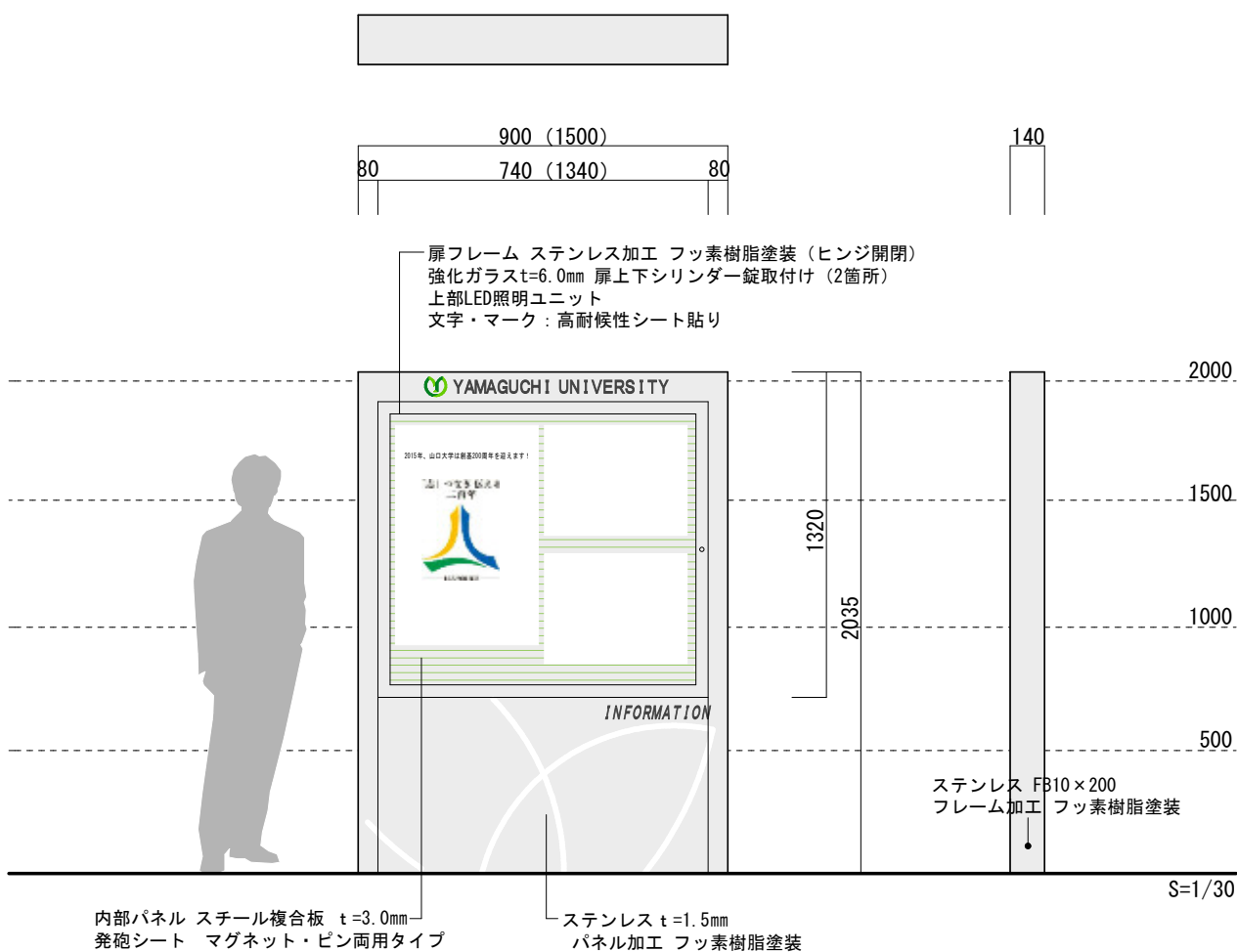


消火栓

【規制等サイン】



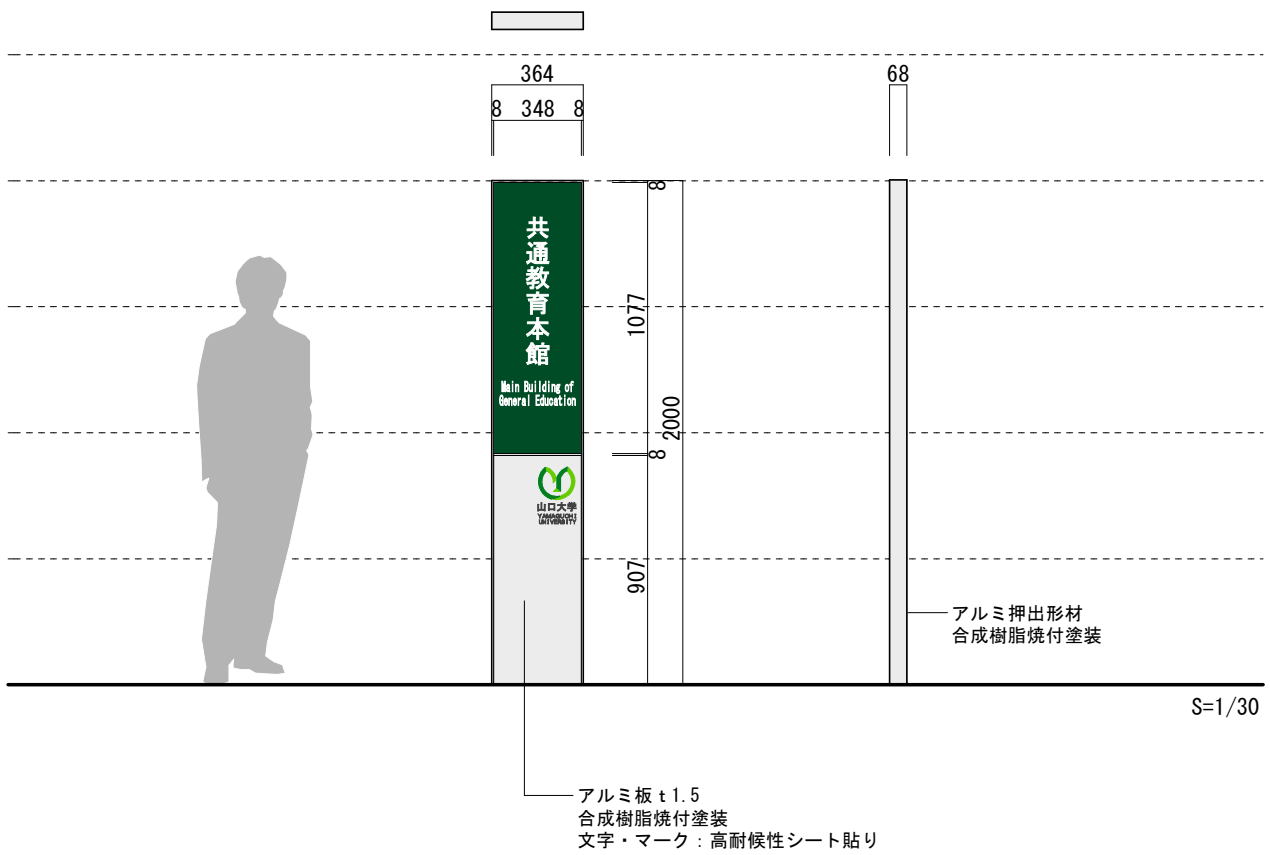
【ポスターケース】



*ポスターケースの横幅寸法については掲示量によって適切に設定でき、連続設置も可能とする。

文字・マーク：高耐候性シート貼り
アルミ板 t1.5 合成樹脂焼付塗装
マップ：高耐候性インクジェットシート貼り

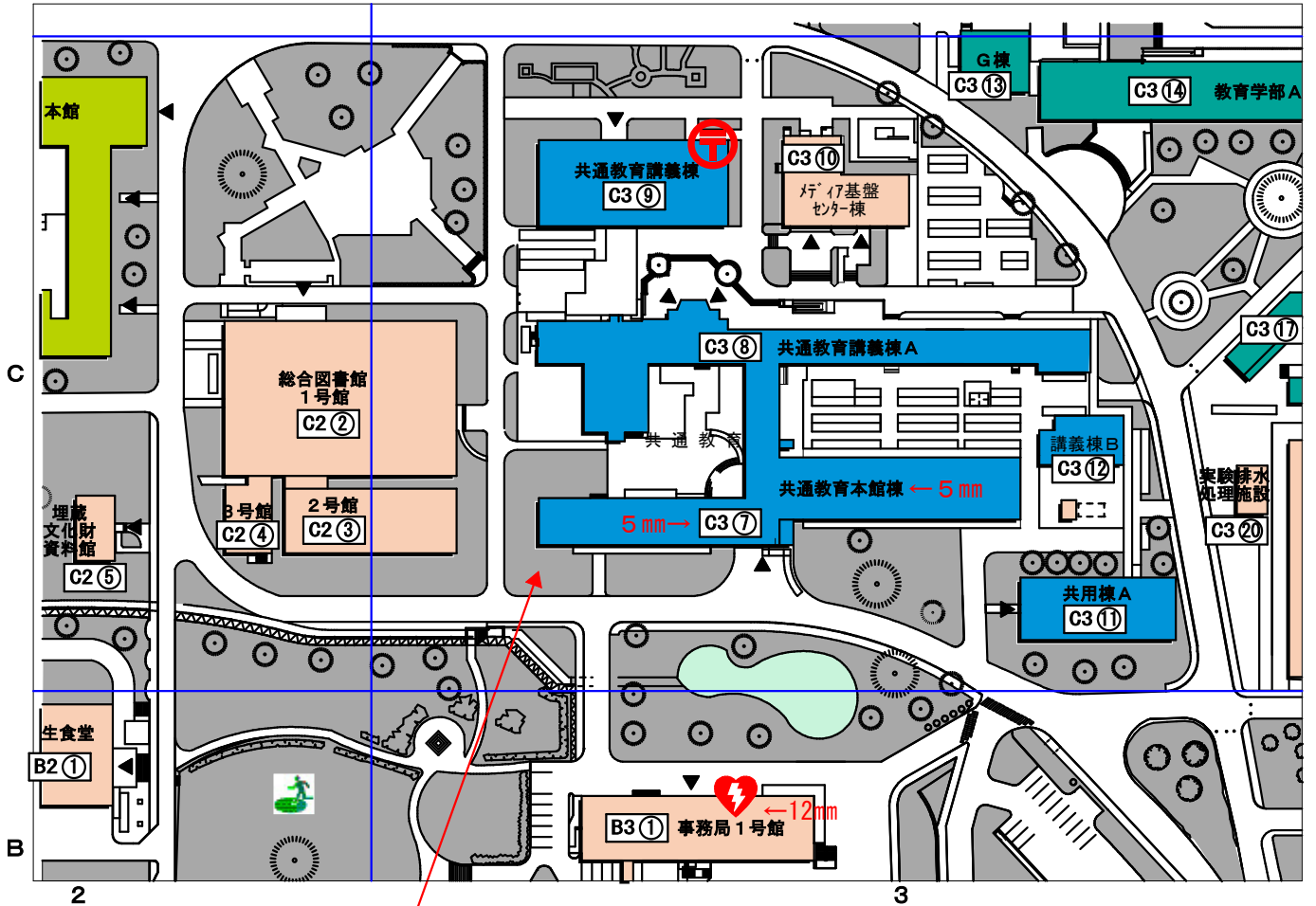
【施設名サイン】



●サインの表示例

敷地全体案内サイン【マップ部分】

(実物スケールの1/2)



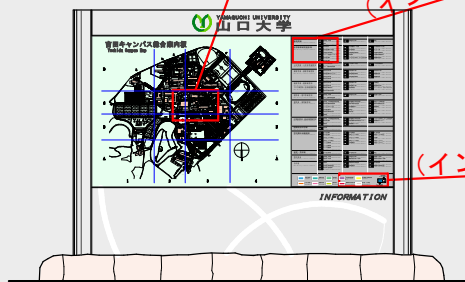
敷地全体案内サイン【インデックス部分】

事務局等
Administration Bureau

- B3 ① 事務局 1 号館
Administration Bureau I
- B3 ④ 倉庫
Warehouse

全学教育研究施設等 ←16mm
Education Research Institute ←10mm

- B2 ① 大学会館 ←10.5mm
University Hall ←8mm
- C2 ④ 総合図書館 3 号館
General Library III
- C3 ⑦ 共通教育本館棟
Main Building for General Edu
- C3 ⑩ メディア基盤センター棟
Media and Infomation Technolo
- C2 ⑬ 総合研究棟
Research and Education Buildi
- D2 ⑯ 総合研究棟
Research and Education Buildi

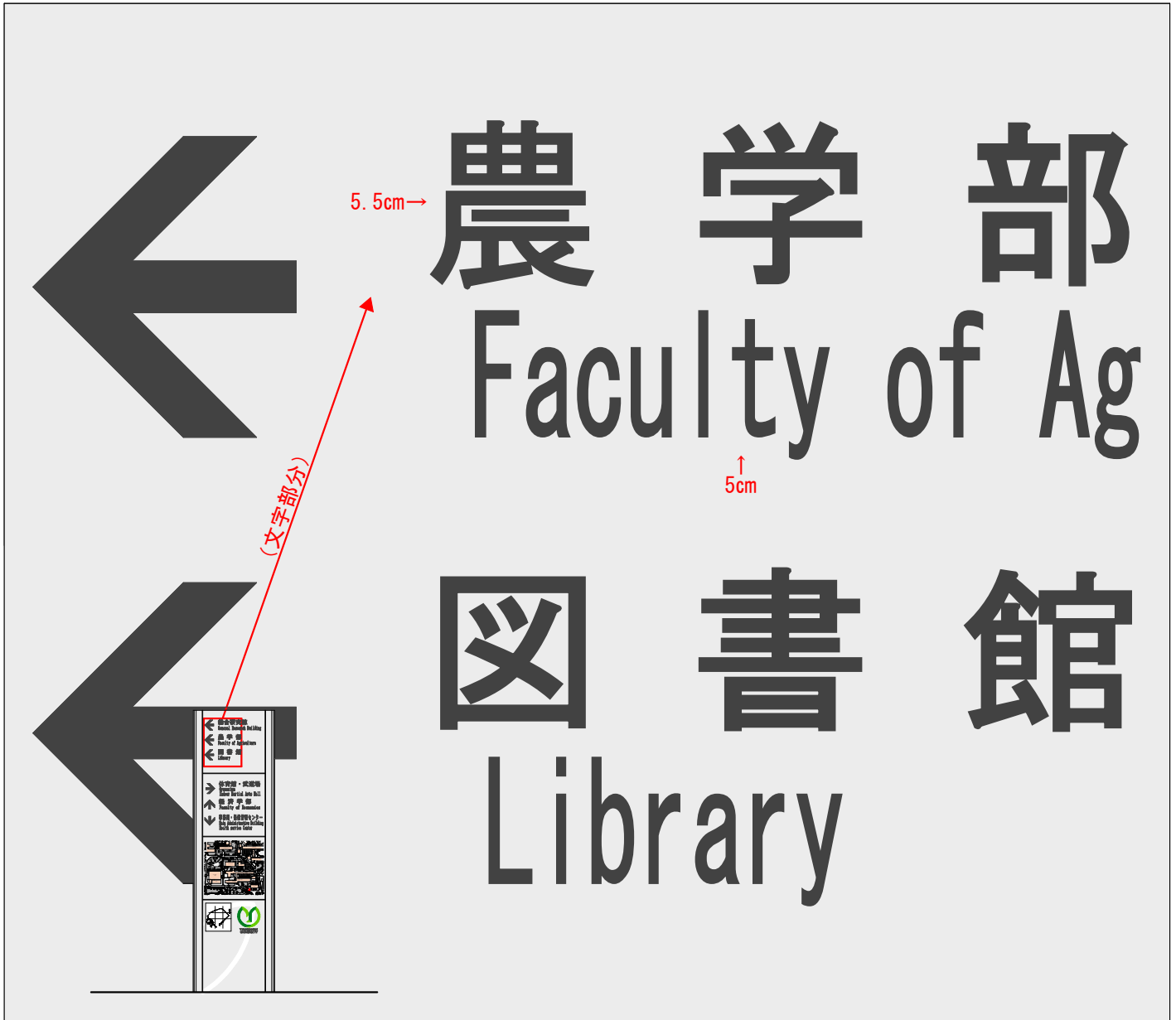


(インデックス部分)

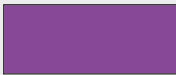

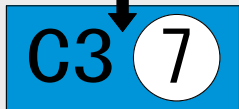

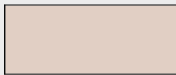
(インデックス説明部分)

誘導サイン【文字部分】

(実物スケールの1/2)



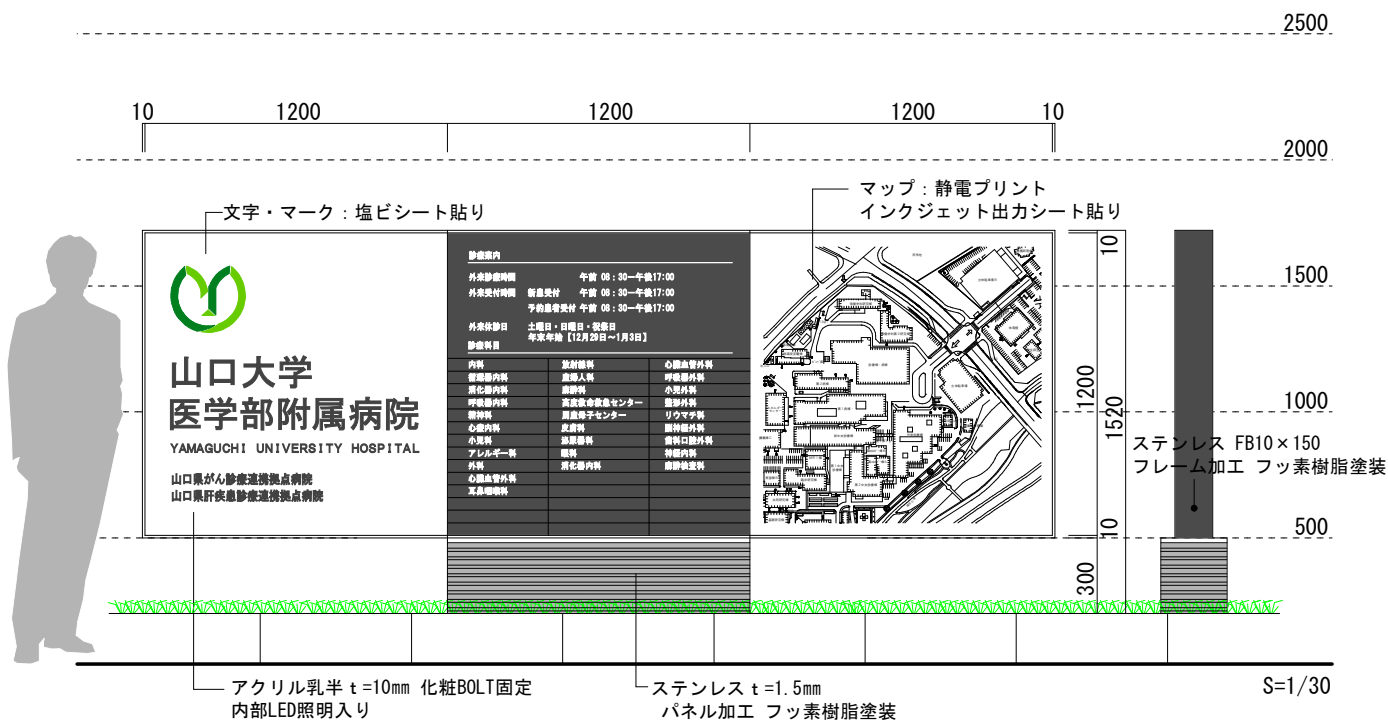
敷地全体案内サイン【インデックス説明部分】

 共同獣医学部 Joint Faculty of Veterinary Medicine	 図書館・体育館等 Library, Gymnasium, etc.	<p>学部等色別 Faculty Color</p> 
 国際総合科学部 Faculty of Global and Science Studies	 管理・その他 Administration Bureau and others	<p>↑ エリア番号 ↑ 建物番号 Area Code Bldg. Number</p>

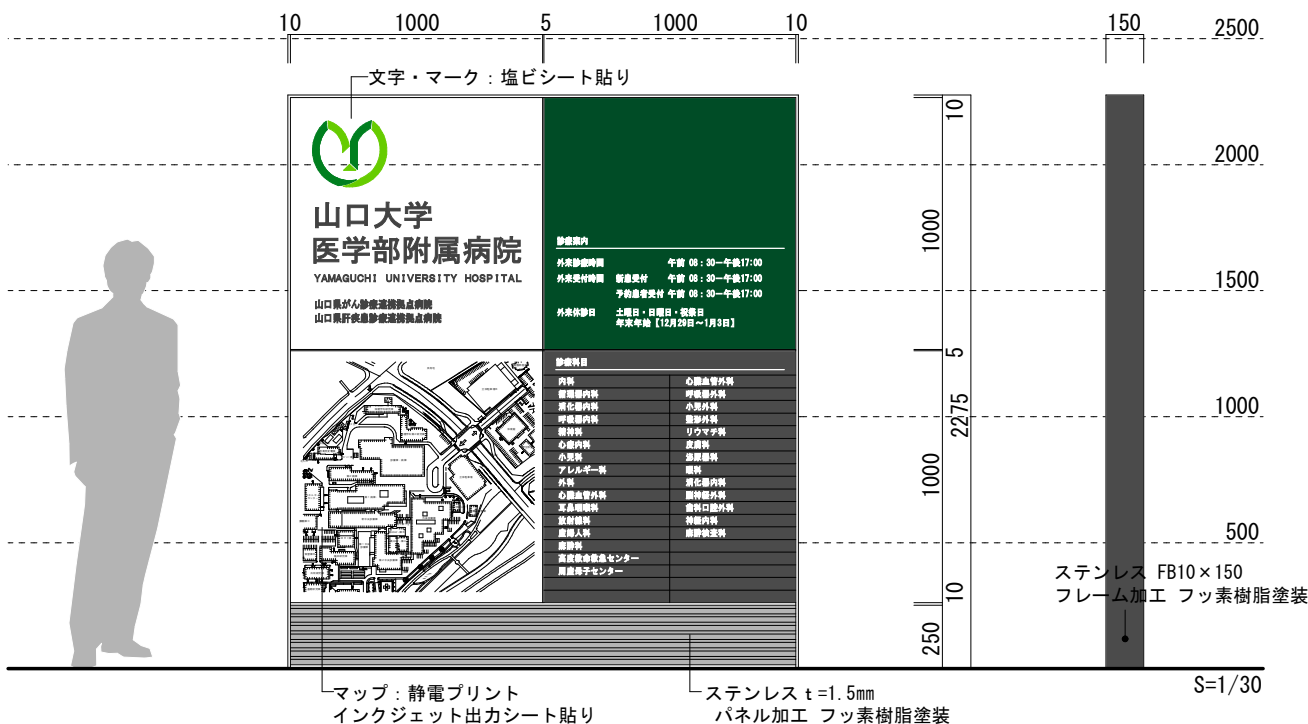
●小串地区の病院エリアに於けるパブリックスペースサインの実例

医学部附属病院は、新病棟の建設を含む病院全体の再開発整備が本格的に稼働し、パブリックスペースサインにおいても既に計画・整備が進行している。病院エリアのサイン整備は再開発整備計画に沿って進めていくものとする。

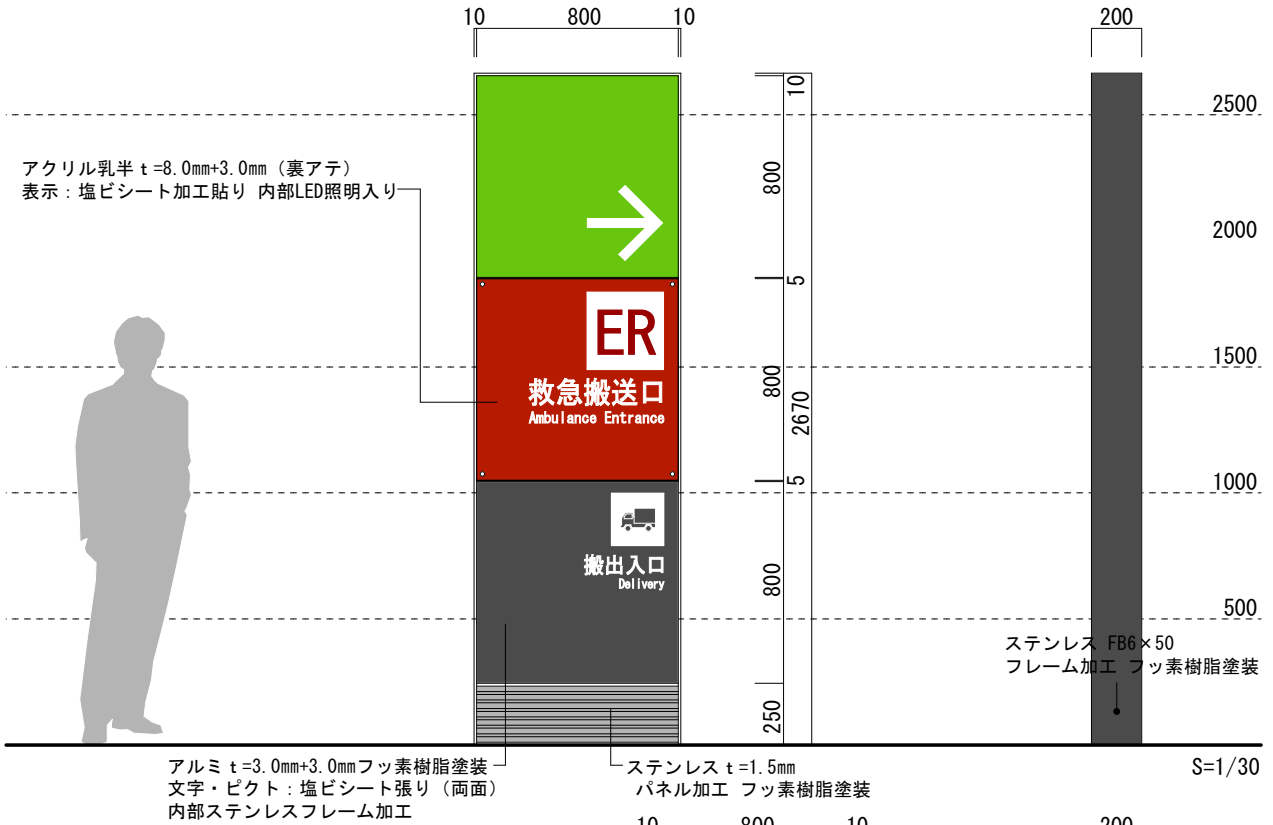
【病院全体案内サイン A】



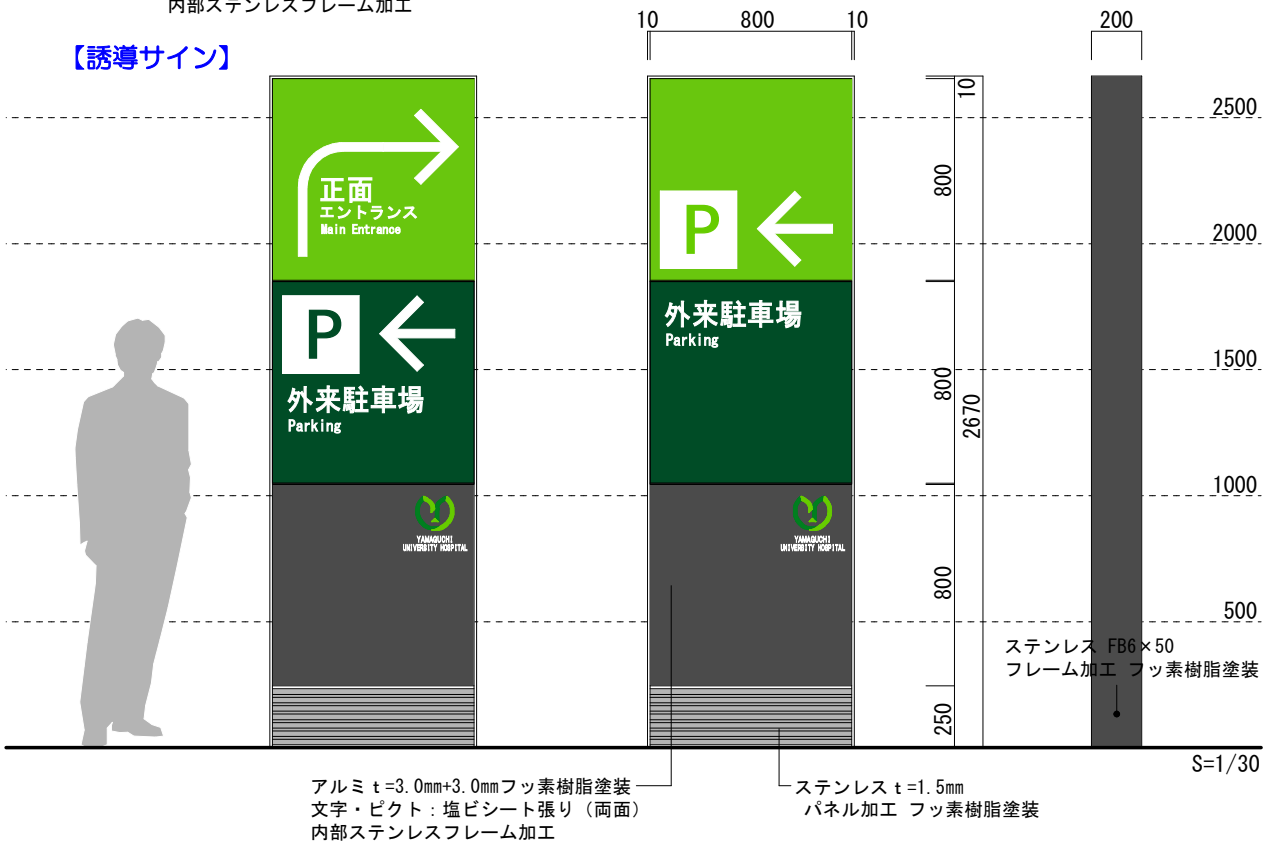
【病院全体案内サイン B】



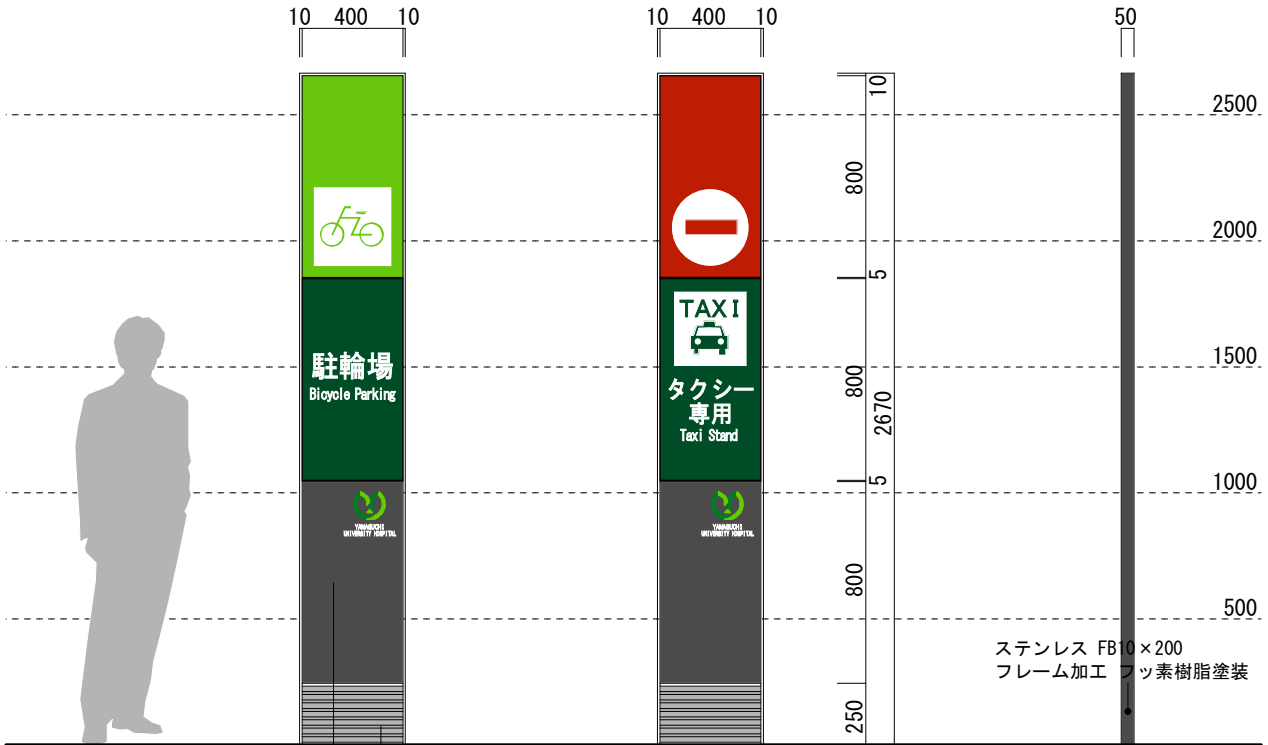
【誘導サイン（救急車入り口誘導）】



【誘導サイン】



【規制等サイン】

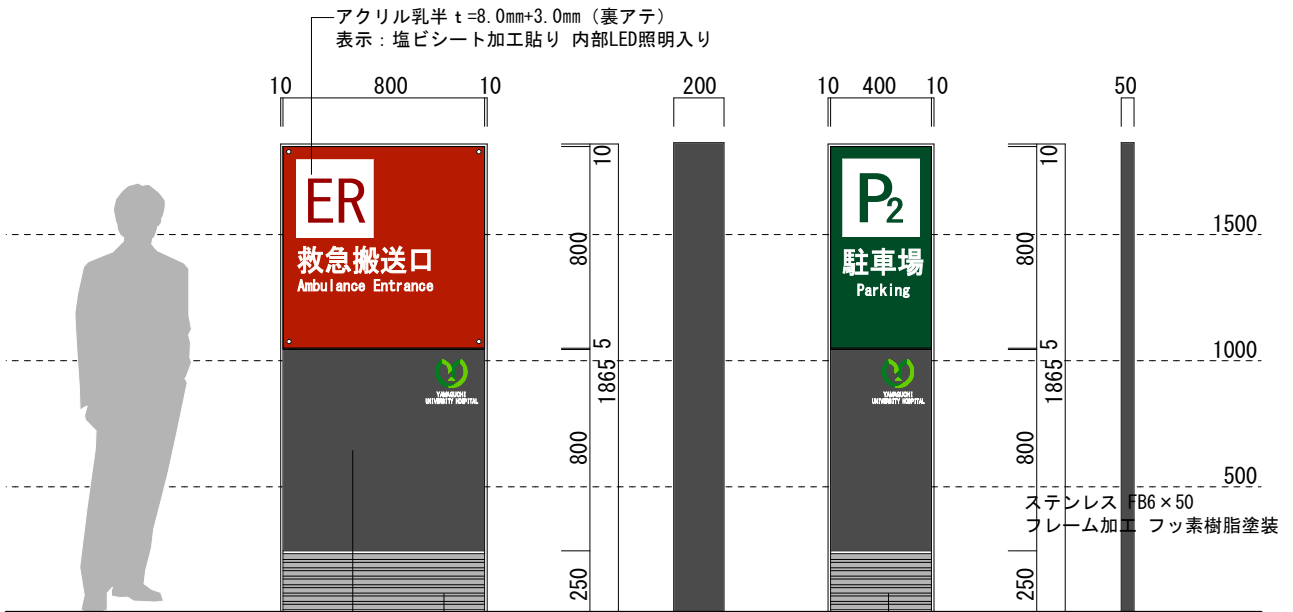


アルミ t=3.0mm+3.0mm フッ素樹脂塗装
文字・ピクト：塩ビシート張り（両面）
内部ステンレスフレーム加工

ステンレス t=1.5mm
パネル加工 フッ素樹脂塗装

S=1/30

ステンレス FB10×200
フレーム加工
フッ素樹脂塗装



アルミ t=3.0mm+3.0mm フッ素樹脂塗装
文字・ピクト：塩ビシート張り（両面）
内部ステンレスフレーム加工

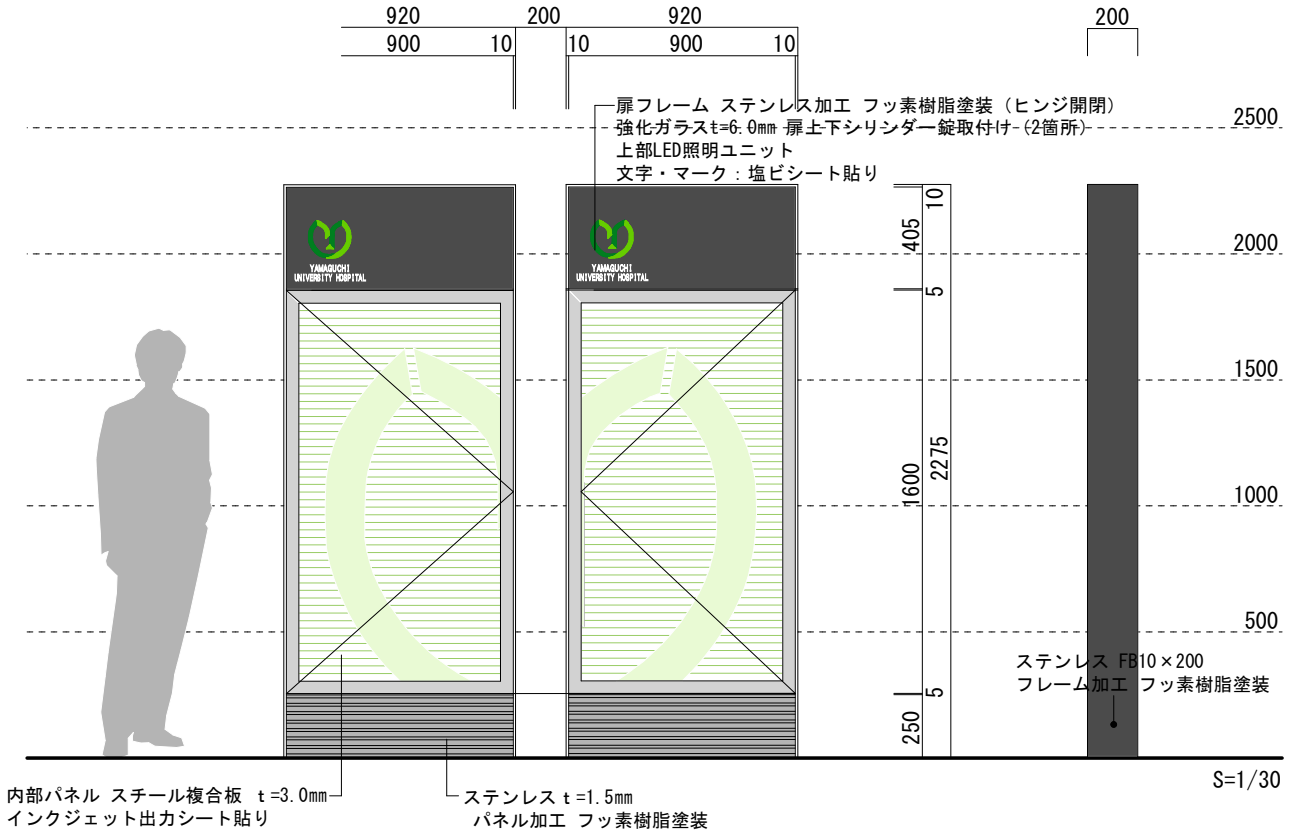
ステンレス t=1.5mm
パネル加工 フッ素樹脂塗装

ステンレス t=1.5mm
パネル加工 フッ素樹脂塗装

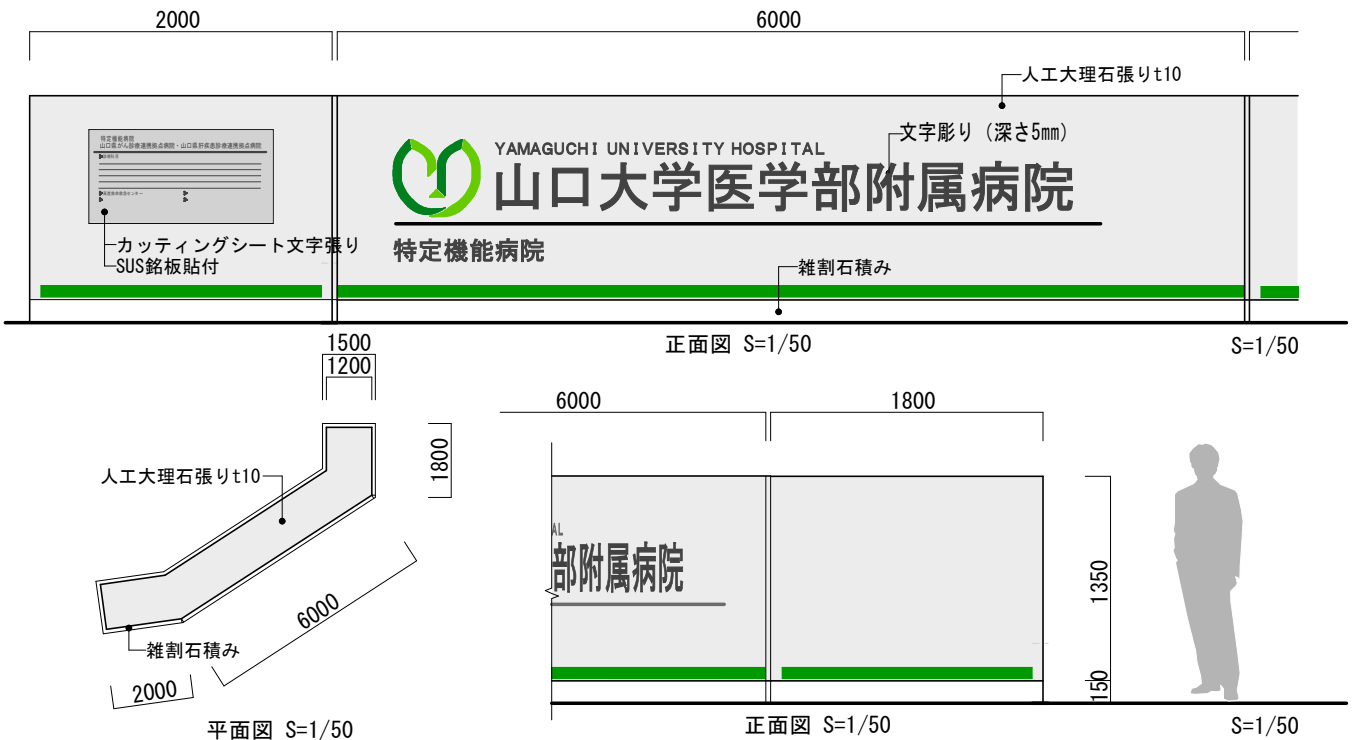
S=1/30

ステンレス FB6×50
フレーム加工 フッ素樹脂塗装

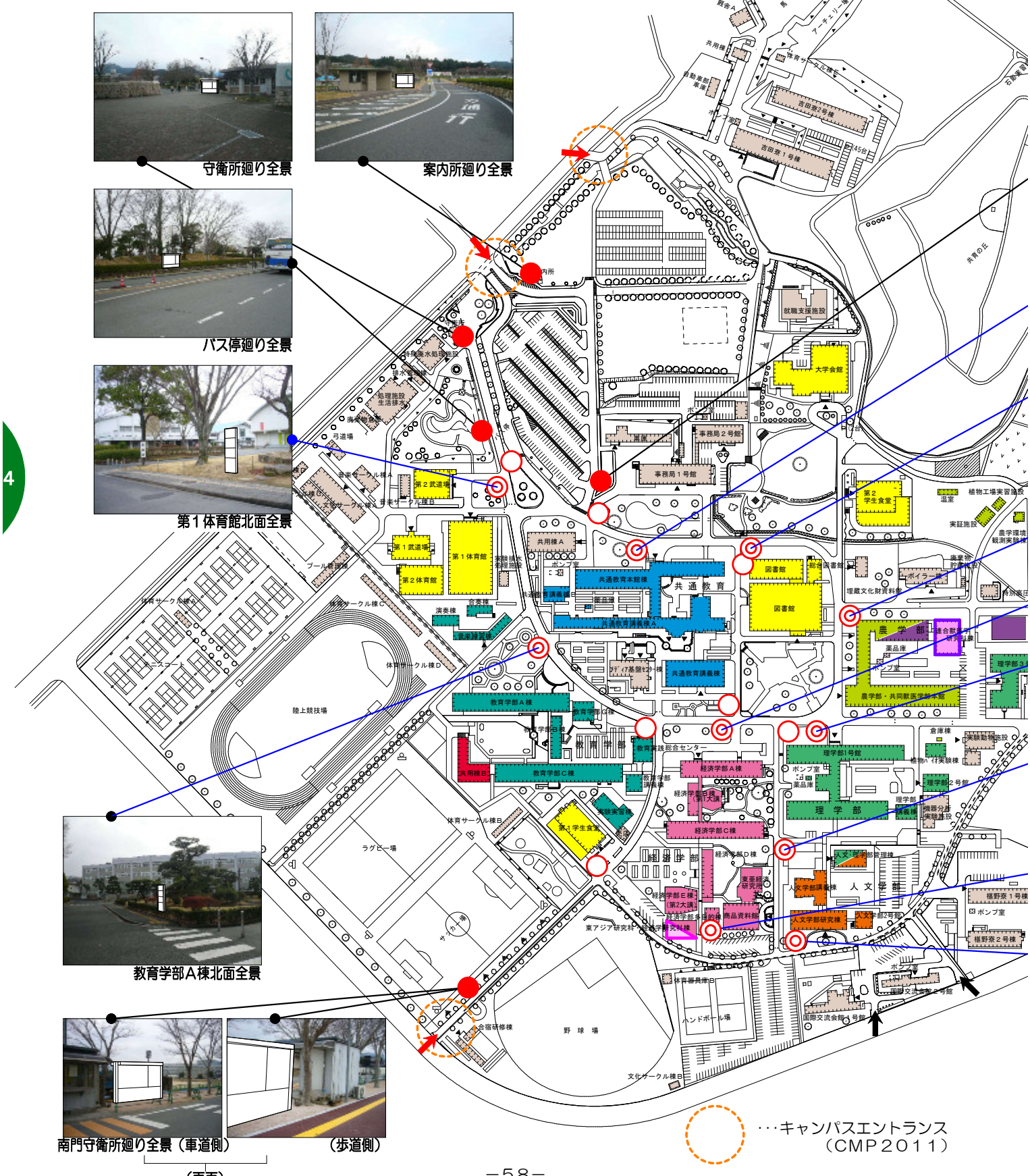
【ポスターケース】



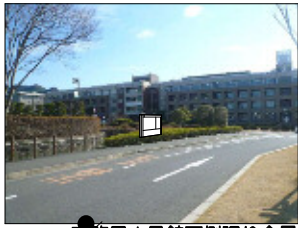
【施設名サイン】



2. 吉田地区のサイン配置計画
 (敷地全体案内サイン・拡大マップによる誘導サイン・誘導サイン)



4



事務局1号館西側廻り全景



共通教育棟北面全景



図書館北面全景



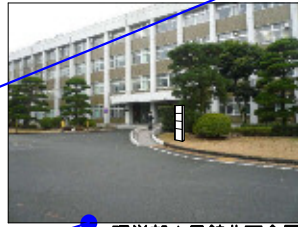
農場入口廻り全景



農学部本館北西面全景



経済学部A棟北面全景



理学部1号館北面全景



人文学部講義棟北面全景



経済学部南面全景



人文学部研究棟南面全景

パブリックサイン凡例

- …敷地全体案内サイン
- ◎ …拡大マップによる誘導サイン
- …誘導サイン

凡例

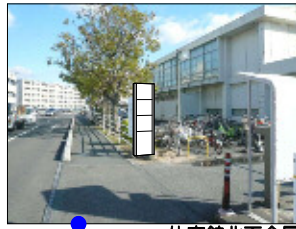
- 共通教育
- 人文学部
- 教育学部
- 経済学部
- 理学部
- 農学部
- 共同獣医学部
- 国際総合科学部
- 東アジア研究科
- 連合獣医学研究科
- 図書館・体育館等
- 管理・その他
- 主要入口
- 歩行者等サブ入口



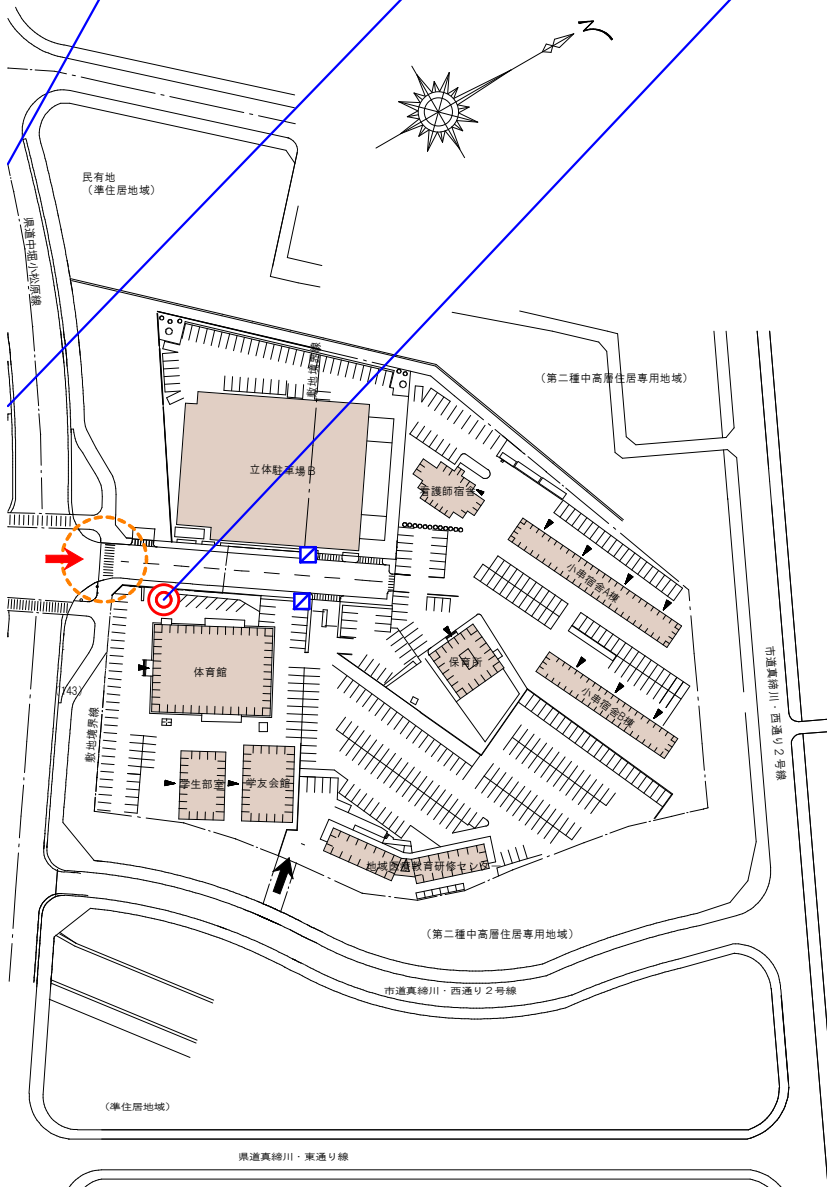
保健学科第2研究棟
東面全景



病院側入口施設名サイン



体育館北面全景
(東小串団地)



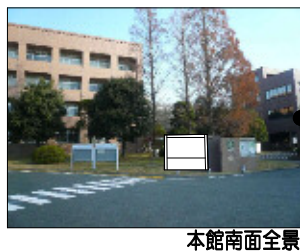
パブリックサイン凡例 (学部等エリア)	
●	敷地全体案内サイン
◎	拡大マップによる誘導サイン
○	誘導サイン
■	駐車場専用誘導サイン

パブリックサイン凡例 (病院エリア)	
●	病院全体案内サイン
○	誘導サイン
■	施設名サイン

凡 例	
■	医学部・その他
■	附属病院
—	病院エリア
←	主要入口
←	歩行者等サブ入口

◎ …キャンパスエントランス (CMP2011)

4. 常盤地区のサイン配置計画
 (敷地全体案内サイン・拡大マップによる誘導サイン・誘導サイン)



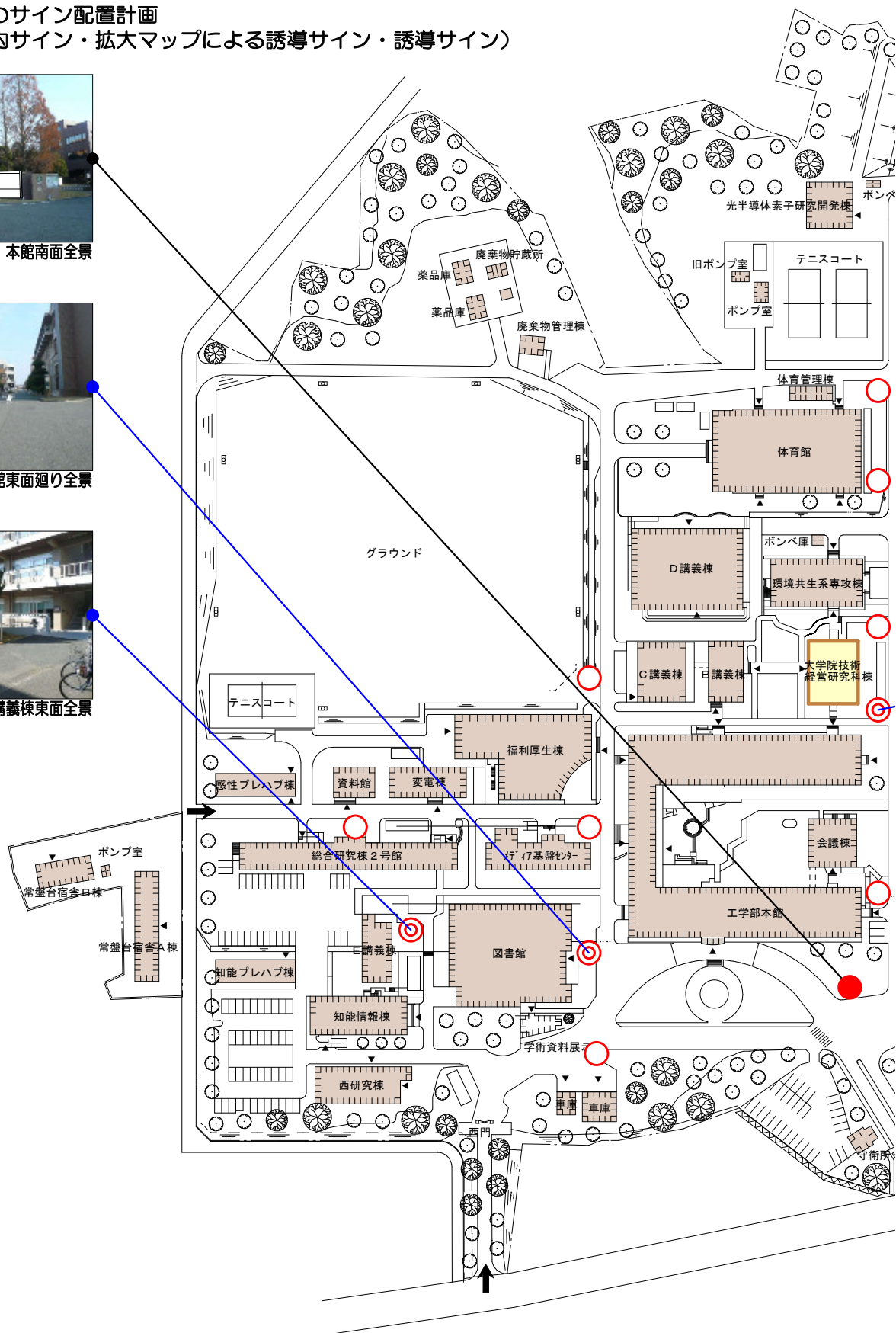
本館南面全景



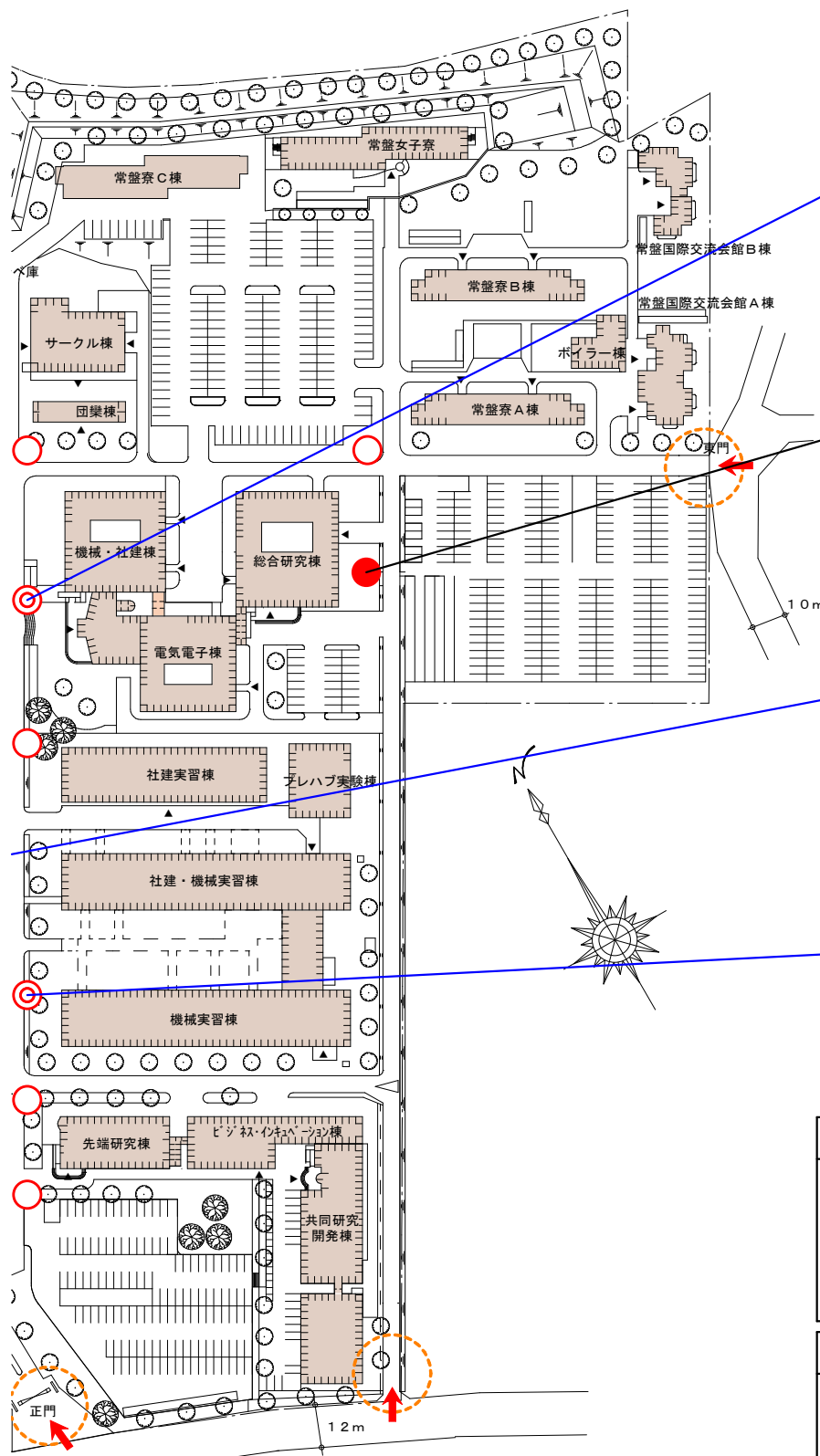
図書館東面廻り全景



西講義棟東面全景



4



電気電子棟玄関廻り全景



総合研究棟東面全景



大学院技術経営研究科棟
東面全景



機械実習棟西側廻り全景

…キャンパスエントランス (CMP 2011)

パブリックサイン凡例	
●	…敷地全体案内サイン
◎	…拡大マップによる誘導サイン
○	…誘導サイン

凡例	
	工学部・その他
	技術経営研究科
	主要入口
	歩行者等サブ入口

5章. パブリックスペースサインの維持管理方針

1. サインの維持管理について

屋外に設置するサインは、年月の経過と共に破損や老朽化が進むほか、教育研究の進展やキャンパス整備等で情報も変化してくる。

サインは情報を伝える基調なメディアであり、正確な情報を伝えるための定期的な情報内容の維持管理が必要になる。

1) 部分的なメンテナンス（短期メンテナンス）

案内サイン等の地図情報について新たに出来た施設、変更となった施設、道路等の変更や追加が必要な情報を抽出し校正を行う。

2) 全面的なメンテナンス（長期的メンテナンス）

表示面の退色が目立ったり、修正済みの箇所が多い、新たな情報を更新する必要があるなど、著しく利用しにくいと考えられる場合は、表示面全体を取り替えるものとする。

3) サイン本体の保守点検と補修

ボルトのゆるみや傷、塗装のはがれ、腐食や照明器具の点灯不良など点検し、必要に応じて補修を行う。

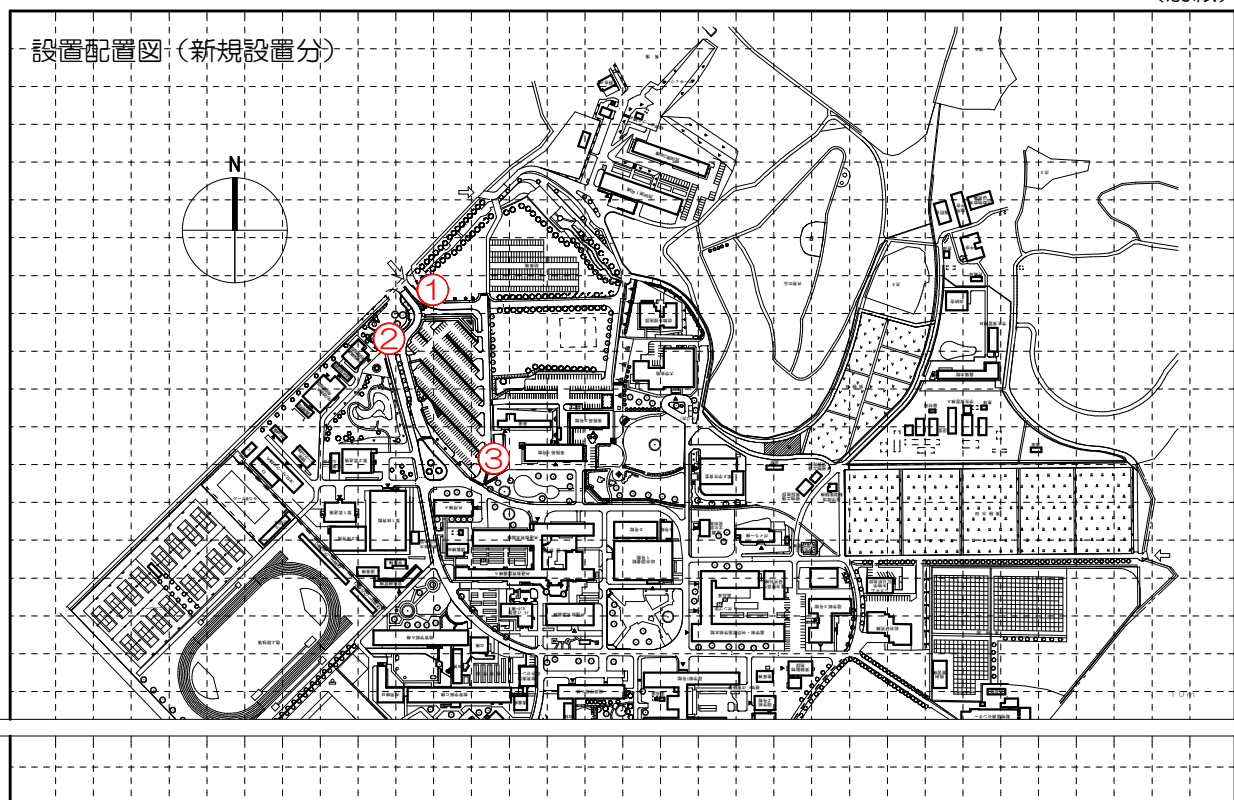
4) 管理台帳の整備

設置後は管理台帳を整備し、設置年度・設置種別・設置場所等を明記し、年1回の施設パトロール実施時に合わせて関係部局と合同で点検し、サイン本体の破損の有無、腐食状況、表示面の塗装のはがれや劣化、表示内容の更新の必要性等を管理台帳に記録し、改善の必要な箇所は速やかに対応する。

管理台帳（新規設置分）

山口大学パブリックスペースサイン管理台帳										〇〇団地				
サインの種類		総合案内板 ・ 誘導サイン ・ 規制等サイン ・ ポスターケース ・ その他												
No.	設置年度	点検内容						対応				点検年度	備考	
		よこれ	歪み・破損	老朽化・腐食	情報の最適性	色落ち・剥離	表示の隠れ	その他	清掃	補修	交換			その他
1	H〇〇年〇〇月				○								H〇〇年〇〇月	〇〇〇〇〇
2	H〇〇年〇〇月				○								H〇〇年〇〇月	
3	H〇〇年〇〇月												H〇〇年〇〇月	
4	年 月												H 年 月	
5	年 月												H 年 月	
6	年 月												H 年 月	
7	年 月												H 年 月	
	年 月												H 年 月	
	年 月												H 年 月	

(別紙)



(配置図に番号を記入)

2. サインの整備費

団地別サイン整備費（*敷地全体案内サインと誘導サインについてのみ試算）

（参考概算金額）

吉田地区							
サインの種類	単 価	数量	金額（千円）	サインの種類	単 価	数量	金額（千円）
敷地全体案内サイン （表示シートの部分修正）	2,500 （200）	5	12,500	規制等サイン （表示シートの部分修正）	410 （80）	—	—
誘導サイン （拡大マップ併用） （表示シートの部分修正両面）	800 （200）	11	8,800	ポスターケース （表示シートの部分修正）	2,000 （70）	—	—
誘導サイン （表示シートの部分修正）	600 （120）	7	4,200	施設名サイン （表示シートの部分修正）	500 （100）	—	—
合 計							25,500

小串地区（病院エリアは除く）							
サインの種類	単 価	数量	金額（千円）	サインの種類	単 価	数量	金額（千円）
敷地全体案内サイン （表示シートの貼り替えのみ）	2,500 （200）	3	7,500	規制等サイン	410 （80）	—	—
誘導サイン （拡大マップ併用）	800 （200）	6	4,800	ポスターケース	2,000 （70）	—	—
誘導サイン	600 （120）	5	3,000	施設名サイン	500 （100）	—	—
合 計							15,300

常盤地区							
サインの種類	単 価	数量	金額（千円）	サインの種類	単 価	数量	金額（千円）
敷地全体案内サイン （表示シートの貼り替えのみ）	2,500 （200）	2	5,000	規制等サイン	410 （80）	—	—
誘導サイン （拡大マップ併用）	800 （200）	5	4,000	ポスターケース	2,000 （70）	—	—
誘導サイン	600 （120）	13	7,800	施設名サイン	500 （100）	—	—
合 計							16,800

総 合 計							57,600
-------	--	--	--	--	--	--	--------

平成26年 9月 2日	平成26年度 第4回 施設環境委員会で パブリックスペースサイン計画WG立ち上げ	承認
平成26年10月31日	第 1回 パブリックスペースサイン計画WG	開催
平成26年12月15日	第 2回 パブリックスペースサイン計画WG	開催
平成27年 3月 2日	第 3回 パブリックスペースサイン計画WG	開催
平成27年 4月14日	第21回 病院整備計画室会議	報告
平成27年 4月20日	第15回 病院整備推進委員会	報告
平成27年 5月12日	平成27年度 第1回 施設環境委員会	審議
平成27年 6月 9日	平成27年度 第2回 施設環境委員会	承認

国立大学法人 山口大学 施設環境委員会（パブリックスペースサイン計画WG）

〒753-8511

山口県山口市吉田1677-1

TEL：083-933-5120

FAX：083-933-5141



YAMAGUCHI
UNIVERSITY

山口大学パブリックスペースサイン計画

パブリックスペースサイン計画検討WG